

#### 4.6 概算事業費

##### 4.6.1 設定条件

本プロジェクトの事業費概算予算の算出に当り、下記の条件を設定した。

- |               |  |
|---------------|--|
| (1) 概算事業費算出時点 | 昭和61年 3月末  |
| (2) 外国為替交換比率  | 180 円 = US \$ 1 = Rs 27.40                             |
| (3) 工事期間      | 約14ヶ月  |
| (4) 輸入資機材     | 輸入資機材に課せられる関税は免除されるものとした。                              |
| (5) 建設費上昇率    | スリ・ランカ国に於ける過去の建設費の上昇動向を調査の結果、着工時点における建設費の上昇率を2.39%とした。 |

##### 4.6.2 事業費概算

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| (1) 日本側負担事業費      | 1,359,118,000 円 |
| (2) スリ・ランカ国側負担事業費 | 18,625,000 円    |
| 1) 解体撤去工事         |                 |
| ① 倉庫解体撤去および整地     | Rs 679,000      |
| ② 管理棟解体撤去および整地    | Rs 824,000      |
| 小 計               | Rs 1,503,000    |
| 2) 守衛所            | Rs 18,000       |
| 3) 屋外工事           |                 |
| ① 門および塀           | Rs 120,000      |
| ② 造園              | Rs 150,000      |
| 小 計               | Rs 270,000      |
| 4) 基幹設備           |                 |
| ① 電力引込            | Rs 457,000      |
| ② 電話引込            | Rs 300,000      |
| 小 計               | Rs 757,000      |

5) その他

① 建築許可申請手数料	Rs	15,000
② 建設資材通関手数料	Rs	260,000
小計	Rs	275,000
合計	Rs	2,835,000
		(=18,625,000円)

スリ・ランカ側の1986年度の会計年度はすでに始まっており、スリ・ランカ国側負担事業費は本年度予算に全く計上されていないことから、その事業費の中、事前準備費（既存建物解体・撤去、整地）に要する費用は、保健省の全体予算の中から充当される。



## 第 5 章 事業評価

### 5.1 社会的効果

新施設は、主として医薬品の保管に重点を置き、各種医薬品の保管温度条件を充足する機能を備えるとともに、合理的な保管システムの導入により作業効率の向上を計って、スリ・ランカ国の医薬品および医療用資材の保管流通の要として適切な施設とする。

- ① 品質の維持された良質の医薬品の供給体制が確立されることにより、スリ・ランカ国の医療が永年にわたり抱えていた問題を解決に導く効果は大きく、更に、医療改善計画の一つの目標が達成され、医療に対する貢献は多大なものが期待される。
- ② 現在建築中であるSPCの必須医薬品製剤センターは、これまで輸入に依存していたものを国産化することによって、良質の必須医薬品を確保する目的で設立される。生産量の60%がMSDに納入される計画であることから、それらの医薬品の品質を劣化させることなく保管・流通を行うために、本施設は不可欠であり、日本政府の無償資金協力プロジェクト2案件は相互補完関係にあり、その成果が期待される。
- ③ 医薬品類の保管・流通機能の集約化により、事務能率、配送効率が向上し、医薬品類の供給要請に対して即座に対応することが可能な体制が整えられる。

以上のように、本プロジェクトは良質の医薬品および医療用資材を全ての国公立医療機関に供給することを通じて国民の保健医療の水準向上に大きく貢献することが期待できるプロジェクトと言えよう。

## 5.2 経済・財務的評価

医薬品・医療用資材の保管に必要であり適切な機能を備えた施設の実現と適切な管理の実施により、

- ① 現在の保管施設の不備に起因して生じた医薬品の品質劣化による効力・力価の低下、期限切れおよび容器破損による使用不能品の廃棄処分等の経済的損失の大半が回避されることが期待される。

実際に1980年から1984年までの医薬品調達費 Rs 1,201,973,253 に対して、Rs 19,958,360 の損失額が報告されており、調達金額の 1.66 %に達している。MSDの1980年から1984年までの支出経費は、Rs 16,275,878 であることから、その経済的損失の規模が容易に認識されよう。

- ② 医薬品の保管・流通の施設が集約されることおよび輸送機材が更新されることにより、輸送効率の著しい向上が期待され、輸送機材にかかる燃費および維持費を含む輸送経費の節減が見込まれる。

- ③ 以後のプロジェクトの維持管理費については、MSDより提出された1986年度予算額をもとに本計画施設が運営開始される1988年度のMSDの予算を想定し、4.6 の試算額と比べてほぼ十分な額であり、プロジェクトの運営に支障をきたすようなことはない。

(試算された額は Rs 8,019,620 であり、これに対しMSDの想定予算は Rs 7,972,000 である。)

## 5.3 実施運営体制

本プロジェクトの実施は、スリ・ランカ政府荷にとって懸案事項であったことから、保健省をはじめとする実施機関は本プロジェクトの実施に対して非常に意欲的に取り組んでいる。実施体制としてMSDの現状組織・職員構成がそのまま継承されるが、施設・機材が合理的なものに更新され、管理が現状に較べ遙かに容易であることから、運営に何ら問題はない。

## 第 6 章 結 論 と 提 言

### 6.1 結 論

以上、述べてきたように、本プロジェクトはスリ・ランカ国における国民の保健医療水準の向上を目的とした、政府の医療改善の努力の一環としてとらえる事ができよう。スリ・ランカ国政府の目標を実際的に達成する上で、公的な医薬品および医療用資材の保管・流通施設の果たす役割は重要であり、その一端を担う本プロジェクトの有する意義は大きい。さらに事業内容も経済的、技術的見地からみて妥当なものであると行うことができ、スリ・ランカ国の技術に合わせ、今後の維持管理が容易なよう、計画がなされており、本プロジェクトの妥当性ならびに社会的・経済的効果を評価した結果、本プロジェクトの実施は十分に意義のあるものであると結論する。

国民の保健・医療水準の向上に努めているスリ・ランカ国政府の医療政策の遂行に対して、適切な医薬品・医療用資材の供給という面で貢献することによって、本プロジェクトはスリ・ランカ国民に対する医療の充実と健康増進に寄与するものと結論づけることができよう。

### 6.2 提 言

1. 計画された保管・流通の機能を十分に発揮させるよう施設を活用するため、保管システム、機材、施設のそれぞれが持つ特性を充分理解し、正しく使用することおよびその管理レベルの向上を計る。具体的には、整理・整頓・清掃を基本とした現場管理を実行し、設備・機材を正しく操作する技術の教育を実施する。保管物の取扱いは、丁寧に、破損せぬよう、効率よく取扱うことを基本とし、下記にかかる工夫・教育とその実践が望まれる。

- 1) 搬出入時におけるトラックへの荷積みおよび荷下ろしの方法
- 2) パレットおよびトラックへの積載方法—積載効率が良く、荷崩れ・破損の起こり難い方法
- 3) 物品の保管および抽出を正確で容易とするため保管位置を明確にし整然とした保管の方法

- 4) 物品の在庫管理を効率よく容易とするため、入荷時の正確な受入検査と荷物の整理方法、現品管理の基本方針の確立と確実な梱卸しの方法
  - 5) 以上の内容を踏まえた倉庫の流通・管理業務に関する基本的マニュアルの作成
2. 流通過程における医薬品類の品質を確保するために、医薬品類は適切な輸送および保管がなされることが肝要であり、DDSへの輸送機材及びDDSの施設の改善・整備が望まれる。
  3. 施設規模を常時、最大限に有効に活用する工夫が望まれ、また将来の保管量増加に対応するため下記にかかる検討とその運営が望まれる。
    - 1) 保管物品の庫内滞留期間の短縮化を計るため、現在、年1～2回の納入を例えば4～6回に増やし、1回当たりの搬入量の減少化、品目別の納入時期の調整による同時保管量の低減化および搬入後短期間内に発送する可能性を工夫する。
    - 2) 特に保管量が増加した場合は物品の保管・管理システムの見直しが必要である。即ち各保管機材の特性を踏まえ、収納効率を向上させるため、その配置を機能別に集約し、各保管物品の数量に基づく分類による保管・管理システムへの移行を検討する。

## 資料編

Appendix I	基本設計調査に関する資料	A-01
I-1	調査団の構成	A-01
I-2	調査団の日程	A-02
I-3	Minutes of Discussions	A-06
I-4	面談者リスト	A-13
Appendix II	収集資料	A-15
II-1	スリ・ランカ国の国家予算	A-15
II-2	保健省 (MOH) 予算	A-16
II-3	医薬品調達部 (MSD) 予算	A-20
II-4	医薬品・医療用資材の取り扱い数量調査	A-22
II-5	ワクチンの取り扱い数量	A-35
II-6	医薬品調達部 (MSD) 保有車輛リスト	A-37
II-7	建設予定地測量図	A-38
II-8	建設予定地写真	A-39
Appendix III	スリ・ランカ国のカントリー・データ	A-40
III-1	基礎指標	A-40
III-2	社会・経済指標	A-42
III-3	開発指標	A-49





## Appendix I-1 調査団の構成

### 1) 基本設計調査団名簿

団 長	鈴木 宏尚	国際協力事業団 無償資金協力計画調査部 基本設計調査第1課長
医薬品管理計画	山川 謙二	厚生省 薬務局 安全課 医薬品副作用情報室 判定調査官
建築計画	西嶋 泰親	(株)レーモンド設計事務所 建築設計部 建築主幹
建築設計	竹下 明基	(株)レーモンド設計事務所 建築設計部 ジョブ・キャプテン
設備計画	杉本 博司	(株)レーモンド設計事務所 設備部
流通・資機材計画	牧野 芳明	(株)日本能率協会コンサルティング 物流本部 チーフ・コンサルタント

### 2) ドラフト説明調査団名簿

団 長	中村 三樹男	国際協力事業団 無償資金協力計画調査部 基本設計調査第1課長代理
建築計画	西嶋 泰親	(前掲)
流通・資機材計画	牧野 芳明	(前掲)

Appendix I-2 調査団の日程

1) 基本設計調査 (昭和61年1月20日～2月8日)

	月 日	時 間	場 所	調 査 内 容
1	1月20日 (月)	13:00～19:10		TOKYO — JL 719 — SINGAPORE
2	1月21日 (火)	19:05～20:15		SINGAPORE — SR 143 — COLOMBO
3	1月22日 (水)	9:00～ 9:50 10:00～11:00 11:30～12:00	JICA事務所 日本大使館 BRD, MOF	橋口所長表敬 日程打ち合わせ 参事官, 網野書記官 調査方針, 日程説明 Mr. S. Weerapana, Asst. Director 調査内容, 日程説明
		14:30～15:50	MOH	Dr. M. Fernando, Secretary 他 日程(現地調査及び全体計画)説明 日程協議及び施設視察の依頼
		16:00～16:30	UDA	Mr. N. D. Dickson, Director表敬
4	1月23日 (木)	9:00～12:00	MOH	Dr. M. Fernando他 本計画の特性及び要請の確認 各CDS の現状説明
		14:00～15:30	MSD	Mr. N. W. E. Wijewantha, Director表敬 Questionnaireを提示, 関連資料供与依頼 MSDの組織・機能の確認
		15:40～16:20	MOH	Dr. M. Fernando他 新規の要請内容の追加及びその説明
5	1月24日 (金)	9:00～12:00	MSD	Mr. N. W. E. Wijewantha他 Deans Road のCDS視察及びProject Site 踏査 Old RailyardのCDS視察 Francis RoadのCDS視察 Do Salam PlaceのCDS視察
		14:20～15:20		
		15:30～16:00		
		16:10～16:30		
6	1月25日 (土)	10:00～10:40 15:00～16:00		Madampe DDS及び Madampe Hospital視察 Sri Jayewardenepra General Hospital視察
7	1月26日 (日)	10:00～10:20 10:30～10:50		Peradenia Teaching Hospital視察 Kandy DDS視察
8	1月27日 (月)	9:00～ 10:30～12:00 14:00～15:10 15:20～15:50 16:00～16:30	MSD → SPC SPC MSD	Mr. S. Jayawickrama表敬 SPC Store Complex 視察 Colombo General Hospital 視察 Bio Medical Engineering Section 視察 Mr. N. W. E. Wijewantha他 医薬品・医療用資材の発注及び搬入につ いてのスリ・ランカ側の施設・資機材にか かる要請内容の確認
9	1月28日 (火)	9:00～12:00	MSD	Mr. N. W. E. Wijewantha他 医薬品・医療用資材の調達システム 低温及び冷凍保存のVaccineにかかる調査 MSDで取り扱う医薬品等の流通調査 MRI視察(鈴木、山川) Project Site 簡易測量(竹下、杉本) 医薬品等の流通調査 Draft Minutes 協議 情報収集—Colombo Municipal Hospital他
		14:00～16:00	MSD	

	月 日	時 間	場 所	調 査 内 容
10	1月29日 (水)	9:00~12:00	MSD	Mr. N.W.E.Wijewantha他 医薬品等の流通調査 協議事項の再確認
		10:30~11:30	ERD, MOF	Mr. S. Weerapana Minutes 協議(鈴木、山川)
		14:00~16:00	MSD	Mr. N.W.E.Wijewantha 他 医薬品等の流通調査 供与資料の再依頼 情報資料収集
11	1月30日 (木)	9:00~10:30	MSD	Mr. N.W.E.Wijewantha他 医薬品等の流通調査
		11:00~12:00	日本大使館	大鷹大使表敬 調査経過報告(鈴木、山川、西嶋)
		12:30~14:00	MOH	Dr. M. Fernando他 Minutes協議
		15:30~16:30	日本大使館	網野書記官 Minutes 協議 情報収集—Urban Development Authority Ceylon Electricity Board National Water Supply & Planning Board
12	1月31日 (金)	8:00~ 8:40	MOH	Dr. M. Fernando他 網野書記官 Minutes協議及び署名(鈴木、山川、西嶋)
		9:00~12:00	MSD	Mr. N.W.E.Wijewantha他 医薬品等の流通調査 情報収集—Sri Lanka Standard Institute Sri Lanka Institute of Architect Telecommunicator他
		10:40~	JICA事務所	橋口所長 調査経過報告及び帰国挨拶(鈴木、山川) 鈴木団長、山川団員帰国
		13:15~18:00		COLOMBO ——— TG 308 ——— BANGKOK
		14:00~16:00	MSD	Mr. N.W.E.Wijewantha他 施設内容にかかる要望の確認
				BANGKOK ——— JL 474 ——— TOKYO
13	2月 1日 (土)	8:45~16:00		
		9:00~11:00	MSD	Mr. N.W.E.Wijewantha他 医薬品等の流通調査 設備及び資機材内容にかかる要望の確認
		14:00~16:00		建設事情調査 ——— Hilton Hotel建設現場視察
14	2月 2日 (日)			協議内容及び資料整理
15	2月 3日 (月)	9:00~12:00	MSD	Mr. N.W.E.Wijewantha他 医薬品等の流通調査 協議内容の再確認
		14:00~16:00	MSD	建設事情調査 情報収集—Sri Lanka Standard Institute Sri Lanka Institute of Engineers 他

	月 日	時 間	場 所	調 査 内 容
16	2月 4日 (火) (建国記念日)	9:00~12:00	MSD	Mr. V. Velayuthampillai 医薬品等の流通調査 協議内容及び資料整理
17	2月 5日 (水)	9:00~16:30	MSD	Mr. V. Velayuthampillai 協議内容の再確認 情報資料収集 — Fire Dept. Survey Dept. National Building Re- serach Organization Sri Lanka Standard In- stitute
18	2月 6日 (水)	9:00~ 15:00~	JICA事務所 日本大使館	橋口所長 調査結果報告及び帰国挨拶 網野書記官 調査結果報告及び帰国挨拶  協議内容及び資料整理 情報資料収集 — Survey Dept. Ministry of Labour Central Bank of Ceylon
19	2月 7日 (木)	9:00~	MSD	Mr. N. W. E. Wijewantha他 最終協議及び帰国挨拶 コンサルタント団員帰国
20	2月 8日 (金)	13:00~18:00 9:15~16:30		COLOMBO — TG 308 — BANGKOK BANGKOK — JL 474 — TOKYO

2) ドラフト説明調査 (昭和61年4月21日～4月28日)

	月 日	時 間	場 所	調 査 内 容
1	4月21日 (月)	14:10～23:15		TOKYO ——— UL 453 ——— COLOMBO
2	4月22日 (火)	9:00～ 9:50	JICA事務所	橋口所長表敬 Draft Report概要説明, 日程打ち合わせ
		10:00～10:40	日本大使館	網野書記官・平野書記官表敬 Draft Report概要説明
		11:20～11:40	ERD	Mr. S. Weerapana, Asst. Director表敬
		14:30～15:20	MOH	Dr. M. Fernando, Secretary表敬 Draft Report提出, 日程協議
		15:30～17:00	MSD	Mr. N. W. E. Wijewantha, Director表敬 Draft Report概要説明 Mr. N. D. Dickson, Director表敬
3	4月23日 (水)	7:45～10:30	MOH	基本設計要旨説明, Draft Report協議 Minutes協議
		10:40～11:30	MSD	Minutes作成
		14:30～15:00	MOH	Minutes署名
		15:30～16:00	JICA事務所	日程打ち合わせ
4	4月24日 (木) (祝 日)	10:00～11:30	MSD	Draft Report補足説明 スリ・ランカ側の事前準備協議
5	4月25日 (金)	9:30～10:30	JICA事務所	経過報告, 帰国挨拶
		12:30～14:00		昼食会, 網野・平野両書記官に経過報告
		14:10～14:40	MSD	帰国挨拶
6	4月26日 (土)			資料収集及び協議内容整理
7	4月27日 (日)	～18:00		協議内容整理
8	4月28日 (月)	20:50		COLOMBO ——— TG 368 ——— BANGKOK
		～ 1:30 10:30～18:25		BANGKOK ——— TG 640 ——— TOKYO

Appendix I-3 Minutes of Discussions

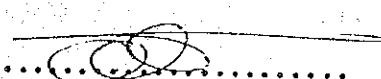
MINUTES OF DISCUSSIONS  
ON  
THE CONSTRUCTION PROJECT OF CENTRAL STORE FOR MEDICAL SUPPLIES  
& EQUIPMENT IN THE DEMOCRATIC SOCIALIST REPUBLIC OF SRI LANKA

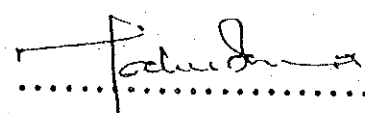
In response to the request of the Government of the Democratic Socialist Republic of Sri Lanka, the Government of Japan decided to conduct a basic design study on the construction project of the Central Store for Medical Supplies & Equipment (herein after referred to as "the Project"), and entrusted the study to the Japan International Co-operation Agency (JICA). JICA sent to Sri Lanka the Study Team headed by Mr. Hironao - Suzuki, Head of the First Basic Design Study Division, Grant Aid Planning & Survey Department, JICA from January, 20 to February 3, 1986.

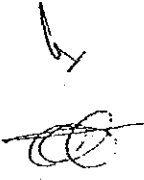
The team had a series of discussions on the Project with the Officials concerned of the Government of the Democratic Socialist Republic of Sri Lanka headed by Dr. Malinga Fernando, Secretary, Ministry of Health and conducted a field survey in Colombo.

As a result of the study, both parties agreed to recommend to their respective Governments that the major points of understanding reached between them, attached herewith, should be examined towards the realization of the Project.

Jan 31  
March, 30, 1986.

  
.....  
Mr. Hironao Suzuki,  
Leader,  
The Basic Design Study Team,  
J I C A.

  
.....  
Dr. Malinga Fernando,  
Secretary,  
Ministry of Health.

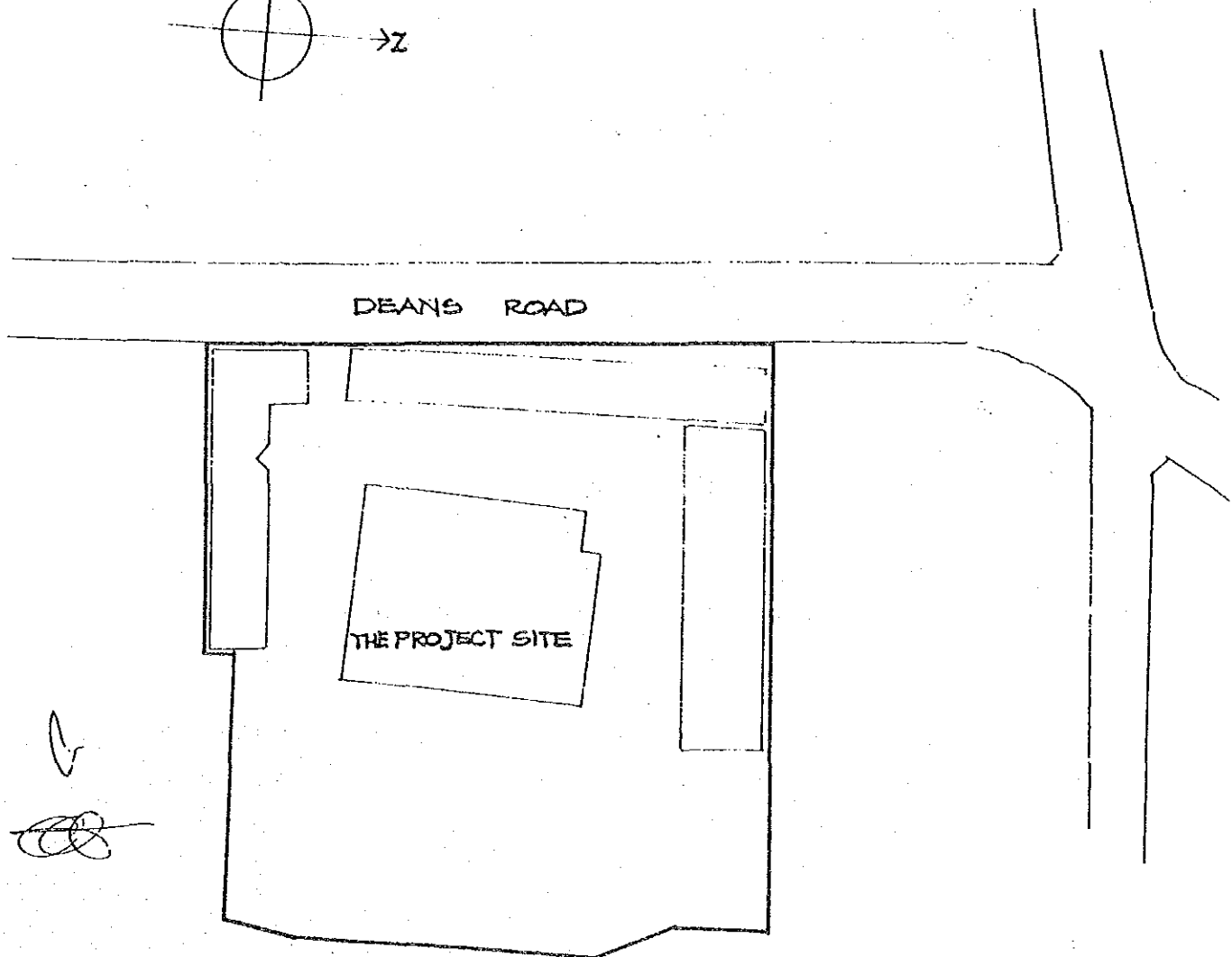
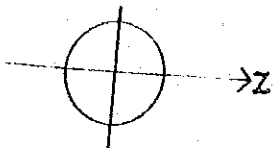
1. The objective of the Project is to improve the present conditions of storing and distribution and to consequently ensure the proper and effective function in the supply of medical drugs and equipment to the users by accomodating modern and equipped facilities.
  
2. The site of the Project is located within the property of Ministry of Health at No. 355 Deans Road, Colombo 10, as shown in Annex I.  
  
The site occupying approximately 2 Acres will exclusively be used for the Project.
  
3. Medical Supplies Division of Ministry of Health is responsible for the administration & execution of the Project.
  
4.  The Japanese Study Team will convey to the Government of Japan the desire of Sri Lanka Government that the former takes necessary measures to cooperate by providing the building & other items listed in Annex II within the scope of Japanese economic co-operation programme in Grant form.
  
5. The Sri Lanka side has understood Japan's Grant Aid System explained by the Team which includes a principle of use of a Japanese Consultant Firm and Japanese General Contractor for the construction.
  
6. The Government of the Democratic Socialist Republic of Sri Lanka will take necessary measures listed in Annex III on condition that the Grant Aid would be extended to the Project.



ANNEX I

: 3 :

THE PROJECT SITE  
NO. 355, DEANS ROAD, COLOMBO 10



: 4 :

## A N N E X II

Items requested by the Government of the Democratic Socialist Republic of Sri Lanka are as follows:-

1. Construction of Building for storing and distribution with:

- 1) Cool room
- 2) Freezer
- 3) Special room for Narcotic & powerful drugs.
- 4) Preparation room for mixture.
- 5) Room for receiving, unpacking, packing and issuing.
- 6) Truck berth.
- 7) Administration office.
- 8) Rest room.
- 9) Meeting room.
- 10) Workshop.
- 11) Other necessary facilities.

2. Required ancillary facilities such as water supply, drainage electricity etc. including lift and inter communication system.

3. Equipment:

- 1) Fork lift trucks.
- 2) Racks and pallets.
- 3) Other necessary equipment.
- 4) Request was made by the Sri Lankan Authorities that 15 lorries 5 tons capacity be provided for transport to drugs from State Medical Stores to Divisional Drugs Stores. *at the making*



A N N E X III:

The Government of the Democratic Socialist Republic of Sri Lanka will take necessary measures on the following matters:

- 1) To secure <sup>approval of</sup> building plan.
- 2) To secure a lot of land for the Project.
- 3) To clear, fill and level the site before commencement of the construction.
- 4) To remove the existing buildings.
- 5) To undertake incidental out-door works such as gardening, fencing, gates and exterior lighting in and around the site.
- 6) To provide facilities for distribution of electricity, water supply, telephone, drainage and other incidental facilities to the Project site.
  - 1) Electricity distributing line to the site.
  - 2) City water distribution main to the site.
  - 3) Drainage city main to the site.
  - 4) Telephone trunk line to the main distribution panel of building.
  - 5) General furniture such as carpets, curtains, tables, chairs and others.
- 7) To bear commissions to the Japanese foreign exchange bank for the banking services based upon the Banking Arrangement.
- 8) To ensure prompt unloading, tax exemption custom clearance at Port of disembarkation in Sri Lanka.
- 9) To accord Japanese Nationals whose services may be required in connection with the supply of products and the services under the verified contract such facilities as may be necessary for their entry into Sri Lanka and stay therein for the performance of their work.
- 10) To maintain and use properly and effectively that the facilities constructed and equipment purchased under the Grant.
- 11) To bear all the expenses other than those to be borne by the Grant, necessary for construction of the facilities as well as for the transportation and the installation of the equipment.

MINUTES OF DISCUSSIONS

The Draft Final Report of the Basic Design Study  
on

The Construction Project of the Central Store for  
Medical Supplies and Equipment

in

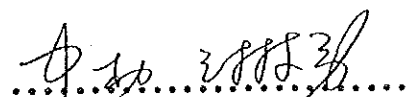
The Democratic Socialist Republic of Sri Lanka

In response to the request made by the Government of the Democratic Socialist Republic of Sri Lanka for a grant aid for the Construction Project of the Central Store for Medical Supplies and Equipment in Sri Lanka (hereinafter referred to as "the Project"), the Government of Japan decided to conduct a basic design study on the Project and entrusted the study to the Japan International Cooperation Agency (J I C A). JICA sent to Sri Lanka the team headed by Mr. Hironao SUZUKI, Head, First Basic Design Study Division, Grant Aid Planning and Study Department, JICA, from January 20th to February 8th, 1986.

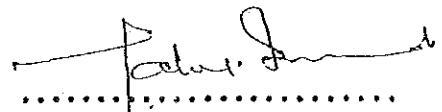
As a result of the study, JICA prepared a Draft Report and despatched a team headed by Mr. Mikio NAKAMURA, Deputy Head, First Basic Design Study Division, JICA, to explain and discuss it with the relevant authorities of the Government of Sri Lanka from April 21st to 28th, 1986.

Both parties had a series of discussions on the Report and agreed to recommend to their respective Governments that the major points of understanding reached between them, attached herewith, should be examined towards the realization of the Project.

23th April, 1986



Mr. Mikio NAKAMURA  
Leader of  
The Basic Design Study Team,  
JICA.



Dr. Malinda Fernando,  
Secretary,  
Ministry of Health,  
SRI LANKA.

A T T A C H M E N T

1. Both parties agreed to reconfirm the Minutes of Discussion which was mutually signed on March 30, 1986.
2. The Sri Lanka side has agreed in principle to the basic design proposed in the Draft Final Report and appropriate alterations agreed upon during the discussions will be incorporated in the Final Report.
3. The Sri Lanka side understood Japan's grant aid system and the arrangement to be taken by the Sri Lanka side for realization of the Project.
4. The Final Report (10 copies in English) will be submitted to the Sri Lanka side by the end of May, 1986.

④

h

Appendix I - 4 面談者リスト

1) スリ・ランカ民主社会主義共和国側関係者

(1) Ministry of Health (MOH)

Dr. Malinga Fernando	Secretary Health
Dr. George Fernando	Deputy Director General, Dept. of Health Services
Dr. A.V.K.V. De Silva	Epidemiologist
Mr. F. Lafir	Manager, Computer Service Bureau

(2) Medical Supplies Division (MSD)

Mr. N.W.E. Wijewantha	Director
Mr. V. Velayuthampillai	Assistant Director
Mr. D.M.D.S. Chandrasiri	Assistant Director
Mr. R.D.S.C. Tillekerathne	Assistant Director
Mr. Rev. Gomez	

(3) Department of External Resources, Ministry of Finance and Planning

Mr. S. Weerapana	Assistant Director
------------------	--------------------

(4) Colombo General Hospital

Dr. Donald W. Abeysundera	Director
---------------------------	----------

(5) State Pharmaceutical Corporation (SPC)

Mr. Senaka Jayawickrama	General Manager
Mr. M.T. Fernando	Manager, Store Complex

(6) Urban Development Authority (UDA)

Mr. N.D. Dickson	Director, Planning
Mr. P. Gunawardena	Deputy Director, Planning

(7) National Building Research Organization

Mr. K.S. Senanayake	Senior Scientist, Social Division
---------------------	--------------------------------------

(8) Municipal Engineer's Department

Mr. K.T. Kanagasingham	Deputy Municipal Engineer, Water Supply and Drainage
Mr. S.G.V.D.H. Gunaserera	Superintending Engineer, Water Supply
Mr. Pallie	(Drawing office)

(9) Ceylon Electricity Board (CEB)

Mr. J. Perera	Planning Engineer
---------------	-------------------

(10) Fire Service Department

Mr. K.D.B. Udugama	Deputy Chief Officer
--------------------	----------------------

2) 日本側関係者

(1) 在スリ・ランカ日本大使館

大鷹 弘	特命全権大使
小島 光昭	参事官
網野 豊	一等書記官
伊丹 光則	一等書記官
平野雄一郎	二等書記官

(2) 国際協力事業団 コロンボ事務所

橋口 次郎	所長
雨貝 哲雄	所員

Appendix II 收集資料

Appendix II - 1 1986年國家預算

## Budget Estimates 1986

HEAD	MINISTRY	RECURRENT	CAPITAL	TOTAL
1- 13	Department not grouped under Ministries	183,327	293,280	476,607
14- 38	District Ministries	32,291	482,300	514,591
39- 47	Defence	3,324,352	2,110,450	5,840,802
- 48	Foreign Affairs	315,096	50,450	365,546
49- 50	Plan Implementation	185,751	442,228	607,979
51- 58	Lands & Land Development	358,662	1,375,933	1,734,595
61- 69	Trade and Shipping	153,927	47,245	201,172
70- 72	Education	3,596,691	521,064	4,117,755
74- 75	Higher Education	401,693	618,800	1,020,493
77- 78	Power and Energy	65,463	1,190,443	1,255,906
81- 82	Labour	82,168	9,046	91,214
84- 86	Public Administration	2,779,403	9,550	2,788,953
87- 88	Rural Development	14,960	6,705	21,665
90- 95	Local Govt., Housing & Construction	614,307	1,721,363	2,335,670
97-100	Industries & Scientific Affairs	106,550	33,888	140,438
102-110	Finance and Planning (See Below)	15,493,080	11,689,490	27,182,570
113-116	Transport	828,581	1,085,411	1,913,992
-117	Transport Boards	154,058	1,420	155,478
118-119	Private Omnibus Transports	3,243	1,800	5,043
-120	Plantation Industry	7,922	211,990	219,912
121-130	Justice	309,977	354,006	663,983
131-134	Agricultural Development & Research	434,371	554,303	988,674
136-137	Fisheries	52,118	234,000	286,118
-140	Mahaweli Development	255,764	3,450,130	3,705,894
-140	Youth Affairs & Employment	275,728	179,010	454,738
142-144	Rural Industrial Development	77,821	140,790	218,611
147-150	Posts & Telecommunications	807,586	731,185	1,538,771
-151	Health	1,762,660	400,389	2,163,049
-152	Women's Affairs & Teaching Hospitals	513,174	130,000	643,174
153-154	Indigenous Medicines	67,461	23,360	90,821
155-158	State	247,254	72,367	319,621
159-161	Social Services	2,165,892	7,334	2,173,226
162-166	Cultural Affairs	44,616	39,947	84,563
-168	Parliamentary Affairs & Sports	22,559	4,225	26,784
170-173	Food & Co-operatives	160,474	7,336	167,810
175-176	Textile Industries	41,776	54,171	95,947
-178	Coconut Industry	1,808	178,605	180,413
180-181	Regional Development	9,276	15,900	25,176
182-183	Highways	353,004	663,601	1,016,605
-185	Janatha Estates Development	1,096	269,975	271,071
-187	State Plantations	0,502	5,000	5,502
189-191	Home Affairs	303,600	14,600	318,200
-192	Rehabilitation	0,756	-	0,756
-193	Ministry without Portfolio	0,634	0,025	0,659
-194	National Security	2,712	559,905	562,617
-195	Security of Commercial Establishments	5,856	0,980	6,836
Total		37,000,000	30,000,000	67,000,000

Finance and Planning

Amounts include Public Debts and Miscellaneous Items.

	Recurrent	Capital	Total
Public Debts	9,227,629	7,134,933	16,362,562
Miscellaneous	5,841,660	4,443,875	10,285,535
Finance & Planning	423,791	110,882	534,673



MINISTRY OF HEALTH

	Estimate 1986	
Programme I Recurrent Expenditure	166,964,000	
Programme II - do -	986,629,000	
Programme III - do -	<u>609,067,000</u>	
	1,762,660,000	20.36%
Programme I Capital Expenditure	66,422,000	
Programme II - do -	164,082,000	
Programme III - do -	<u>169,835,000</u>	
	<u>400,389,000</u>	16.59%
	<u>2,163,049,000</u>	

- 1) The percentage from the total estimate for 1986, 16.59% have been allocated by the Government (including capital expenditure) for medical supplies.
- 2) 20.36% have been allocated by the Government from the total recurrent expenditure for 1986, in respect of medical supplies.

HEAD 151 - MINISTRY OF HEALTH (ESTIMATES 1986)

①

	DRUGS (a)	OTHERS (b)	C.T.D.&B.T.T. (c)	TOTAL
151-1-2-03-5 Regional Administration	30,000.00	10,000.00	4,000.00	44,000.00
151-1-3-03-5 Training & Scholarships	280,000.00	..	28,256.00	308,256.00
151-2-1-03-5 Provincial & Base Hosp.	117,000,000.00	20,000,000.00	10,900,000.00	147,900,000.00
151-2-2-03-5 District Hospitals including Cottage Hosp.	40,000,000.00	9,000,000.00	4,900,000.00	53,900,000.00
151-2-3-03-5 Peripheral Units & Rural Hospitals:	24,000,000.00	4,000,000.00	2,812,000.00	30,812,000.00
151-2-4-03-5 Central Dispensaries & Maternity Homes	17,500,000.00	2,500,000.00	2,000,000.00	22,000,000.00
151-2-5-03-5 Specialized Hospitals	20,000,000.00	4,000,000.00	2,500,000.00	26,500,000.00
151-2-6-03-5 Laboratory & Other Diagnostic Services	5,000,000.00	5,000,000.00	1,000,000.00	11,000,000.00
151-2-7-03-5 National Blood Transfusion Services	6,100,000.00	450,000.00	671,000.00	7,221,000.00
151-2-8-03-5 Bio Medical Engineering Division	..	..	..	..
151-2-9-03-5 Quality Control Labl	..	200,000.00	20,000.00	220,000.00
151-2-10-03-5 Medical Research Institute	3,000,000.00	..	307,000.00	3,307,000.00
151-2-11-03-5 Assistance to Private Organisations & Local Authorities.	1,919,365.00	..	..	1,919,365.00
	234,829,365.00	45,160,000.00	25,142,256.00	305,131,621.00

Continued.....

2

	DRUGS (a)	OTHERS (b)	O.T.D.&B.T.T. (c)	TOTAL
151-3-1-03(5) General Preventive Services & Environmental Sanitation	234,829,365.00	45,160,000.00	25,142,256.00	305,131,621.00
151-3-2-03 Health Education	...	...	...	...
151-3-3-03(5) School Health including School Dental Health	900,000.00	300,000.00	...	1,200,000.00
151-3-4-03(5) Quarantine	250,000.00	...	...	250,000.00
151-3-5-03(5) Malaria Control	2,500,000.00	700,000.00	...	3,200,000.00
151-3-6-03(5) Filariasis Control	180,000.00	180,000.00	37,000.00	397,000.00
151-3-7-03(5) Venereal Diseases Control	250,000.00	50,000.00	30,000.00	330,000.00
151-3-8-03(5) Rabies Control	2,985,000.00	15,000.00	300,000.00	3,330,000.00
151-3-9-03(5) Food Quality Control	300,000.00	...	...	300,000.00
151-3-10-03(5) Family Health	28,320,000.00	...	...	28,320,000.00
Total ...	<u>284,514,365.00</u>	<u>47,405,000.00</u>	<u>26,946,256.00</u>	<u>358,865,621.00</u>

YEAR	PURCHASES	LOSSES
1980	181,348,481.61	66,090.39
1981	277,681,503.76	61,121.94
1982	235,371,093.94	3,325.65
1983	219,108,567.18	..
1984	288,463,606.33	* 19,827,822.42
1985	<u>343,306,558.91</u>	

\*

You will see from the above figures indicated under the "LOSS COLUMN" that in 1984, Rs.19 Million worth of unserviceable items have been destroyed. This is largely due to lack of proper storage facilities and the fact that what ever facilities we had were geographically scattered. As a result they have been accumulating for years without being checked. At every Annual Verification there had been items kept aside due to reasons of unserviceability. It was before the re-organisation of the Medical Supplies Division that a comprehensive verification was done in 1984 and action was taken to destroy the all unserviceable items.

	Drugs	Others	C.D.&T.T.	Total
Total	284,514,365	47,405,000	26,946,256	358,865,621
Capital Expenditure	Value			
151-1-103-09(3) Machinery & Equipment	2,153,000			
151-1-103-09(4) Implements Tools				
Instruments & Apparatus	1,045,000			
151-2-103-09(3) Machinery & Equipment	39,701,000			
151-2-103-09(3) Machinery & Equipment	9,333,000			
151-2-103-09(4) Imp. Instr. Apparatus	20,000,000			
151-3-103-09(4) Implements, Tools, Instruments & Apparatus	20,350,000			
	92,582,000			
				<u>92,582,000</u>
				<u>851,447,621</u>

Appendix II - 3 医薬品調達部 (MSD) 予算

Expenditure Incurred at the M.S.D for the Period 1/1/81 to 31/12/85

	1980	1981	1982	1984	1985	1986 Allocation
1	1,269,621	2,440,555	2,555,662	2,599,638	2,524,627	3,147,160
2/1	81,561	144,380	136,190	184,090	178,496	150,000
2/3	1,321	4,170	5,107	4,343	22,153	19,475
4	121,816	-	-	-	-	-
5	546,762	-	-	-	-	-
6	205,652	-	-	-	-	-
7	216,661	-	-	-	-	-
8	-	-	752,150	1,157,734	1,584,641	1,516,267
9	30,366	2,680	2,625	2,825	5,300	3,300
2/1	21,795	38,356	49,068	76,764	113,522	126,000
2/2	-	794	1,740	-	-	8,950
3/1	35,950	24,026	33,376	63,063	51,357	62,036
3/2	127,485	127,867	117,287	176,034	244,721	199,050
3/9(3)	106	-	4,896	2,796	469	535
3/9(7)	7,275	1,600	1,609	13,129	36,074	60,000
5/2(1)	58,017	91,969	100,595	142,705	22,820	22,629
5/2(2)	-	-	-	-	118,787	125,000
5/3(1)	7,255	250	1,750	1,537	4,770	5,400
5/3(2)	258	3,469	299	9,517	1,421	15,358
5/3(3)	10,640	891	743	692	1,160	2,000
5/4	205	7,981	36,153	124,493	50,726	100,000
5/5	29,655	409,554	23,562	67,800	53,000	53,000
		27,684	93,342	76,692	76,122	80,000

Expenditure Incurred at the M.S.D for the Period 1/1/18 to 31/12/85

	1980	1981	1982	1984	1985	1986 Allocation
3/7 Uniform	3,145	4,151	7,657	-	-	32,000
04/1 Repairs and Maintenance of Office Equipment	7,785	13,151	8,930	31,751	7,540.40	24,153
04/2 Vehicles (Repairs and Maintenance)	82,380	55,191	66,631	106,763	94,206.74	300,000
5/1 Transportation	1,135,043	-	34,228	-	-	80,000
3/9(14) Sundries (Advertisements)	-	-	-	439	-	460
T o t a l	4,000,754	3,398,719	4,033,600	4,482,805	5,214,381	6,132,313

Appendix II - 4 医薬品・医療用資材の取り扱い数量調査

Section A									
Serial Number	Name of Item	Unit	Balance 1/Jan./1986	1986 Estimate x 1/2	per Case	Number of Cases	Size of Case cm x cm x cm	Volume (m <sup>3</sup> )	
0028	Ammon Bicarbonate	kg	2,474.5	6,000	30	282	37.5 x 28.8 x 30.2	9.2	
0007	Acid Citric	kg	3,891.5	3,500	40	185	37.5 x 28.8 x 30.2	6.0	
0074*	Calx Chlorinata	kg	21,700	25,000	50	934	60 H x 20 radius (60 x 40 x 40)	89.7	
0076	Calcium Lactate 300 mg	Tablet	55,385,000	40,000,000	50,000	1,908	52 x 30 x 53	157.8	
0106	Creta Gallic	kg	1,000	7,000	25	320	60 x 37 x 15	10.7	
0107	Creta Prepared	kg	3,550	3,000	25	262	60 x 37 x 15	8.7	
0253	Magnesium Sulphate Crystals	kg	13,595	-	25	544	60 x 37 x 15	18.1	
0376	Potassium Citrate	kg	3,585	5,000	40	215	57 x 35 x 23	9.9	
0334	Yellow Soft Paraffin	kg	21,295	20,000	40	1,032	30 H x 20 radius (30 x 40 x 40)	49.5	
0424	Sodium Bicarbonate	kg	9,900	10,000	50	398	76.2 x 40.6 x 15.2	18.7	
0602	Dextrose	kg	4,101	3,500	20	380	57 x 35 x 23	17.4	
1643	Ferrous Sulph. 200 mg	Tablet	2,850,000	25,000,000	60,000	464	52 x 30 x 53	38.4	
1866	Aspirin 300 mg	Tablet	15,480,000	87,500,000	50,000	2,060	52 x 30 x 53	170.3	
5517	Oral Rehydration Powder Pack	Packet	469,215	250,000	2,000	359	75 x 40 x 20	21.5	
								625.9 m <sup>3</sup>	
								Except *	536.2 m <sup>3</sup>

## Section B

Serial Number	Name of Item	Unit	Balance 1/Jan./1986	1986 Estimate x 1/2	per Case	Number of Cases	Size of Case cm x cm x cm	Volume (m <sup>3</sup> )
0021	Solvent Ether	Litre	26,381	12,500	20	1,944	37.5 x 28.8 x 30.2	63.4
0061	Benzyl Benzoate Application	Litre	63,206	-	20	3,160	57 x 35 x 23	145.0
0147	Extract of Liquorice BP	Litre	4,667.5	7,500	20	608	57 x 35 x 23	27.9
0230	Hydrogen Peroxide Solution (500 ml)	Litre	4,461.5	7,500	20	598	57 x 35 x 23	27.4
0250*	Cresol and Soap Solution	Litre	28,195	35,000	25	2,528	45 x 30 x 26	88.7
0332	Paraffin Liquid	Litre	6,635	8,500	20	757	37.5 x 28.8 x 30.2	24.7
1651	Piporazine Citrate Elixir	Litre	87,915	-	20	4,396	37.5 x 28.8 x 30.2	143.4
5040	Chlorhexidine with Cetrinide Solution	Litre	79,400	12,500	20	4,595	37.5 x 28.8 x 30.2	149.9
								670.4 m <sup>3</sup> Except * 581.3 m <sup>3</sup>



Section C-1 (Vitamins, Antibiotics)

Serial Number	Name of Item	Unit	Balance 1/Jan./1986	1986 Estimate x 1/2	per Case	Number of Cases	Size of Case cm x cm x cm	Volume (m <sup>3</sup> )
0613	I.N.A.H. 100 mg.	Tablet	15,585,000	5,000,000	100,000	206	56.5 x 50.4 x 42.8	25.1
0634	Sodium Aminosalicilate 0.5 G	Tablet	2,200,000	-				
0639	Inj. Fortified Procaine Penicillin Vials	Vial	3,916,200	4,000,000	2,000	3,958	55 x 53 x 29	334.6
0640	Inj. Penicillin 1,000,000 unit Vials	Vial	5,980,025	3,500,000	2,000	4,740	55 x 53 x 29	400.7
0641	Inj. Penicillin 500,000 unit Vials	Vial	2,000,000	-	2,000	1,000	55 x 53 x 29	84.5
0726	Chloramphenicol 250 mg Cops	Capsule	3,120,000	3,000,000	50,000	122	56.5 x 50.4 x 42.8	14.9
1258	Inj. Streptomycin Sulphate 1 G. Vials	Vial	301,000	250,000	2,000	278	55 x 53 x 29	23.5
1259	Inj. Streptomycin Sulphate 5 G. Vials	Vial	295,900	300,000	1,000	596	55 x 53 x 29	50.4
1557	Phenoxymethyl Penicillin 125 mg	Tablet	2,664,000	26,500,000	60,000	486	56.5 x 50.4 x 42.8	59.2
1880	Tetracycline HCl 250 mg	Capsule	-	15,000,000	50,000	300	56.5 x 50.4 x 42.8	36.6
1896	Inj. Chloramphenicol Sodium Succinate 1G	Vial	16,200	100,000	1,000	116	30 x 26 x 26	2.4
1930	Erythromycin Stoarate 250 kg	Tablet	107,000	2,250,000	50,000	47	56.5 x 50.4 x 42.8	5.7
1993	Syrop Penicillin Forte 125 ml	Bottle	3,484	2,500	12	499	35.5 x 33 x 27.9	16.3
5041	Benzathine Penicillin 1.2 mil.	Vial	400,400	200,000	2,000	300	55 x 53 x 29	25.4
5180	Grieseofulium 125 mg	Tablet	1,078,000	750,000	60,000	30.5	30 x 26 x 26	0.6
5209	Cloxacillin 250 mg	Capsule	1,086,000	3,500,000	50,000	92	56.5 x 50.4 x 42.8	11.2
5219	Ampicillin 250 mg	Capsule	7,400,000	10,000,000	50,000	348	56.5 x 50.4 x 42.8	42.4
5220	Inj. Ampicillin 250 mg	Ampule	220,600	1,250,000	2,000	735	55 x 53 x 29	62.1
								1,175.6 m <sup>3</sup>

Section C-1

Serial Number	Name of Item	Unit	Balance 1/Jan./1986	1986 Estimate x 1/2	per Case	Number of Cases	Size of Case cm x cm x cm	Volume (m <sup>3</sup> )
5221	Inj. Cloxacillin 250 mg	Ampule	90,000	500,000	2,000	295	55 x 53 x 29	24.9
5269	Inj. Ampicillin and Cloxacillin 2 ml	Vial	5,850	25,000	2,000	15	55 x 53 x 29	1.3
5271	Ampicillin Syrop 100 ml	Bottle	1,341.6	4,500	7.5	779	30.4 x 27.9 x 45.7	30.2
5272	Cloxacillin Syrop 60 ml	Bottle	314.4	400	7.5	95	30.4 x 27.9 x 45.7	3.7
5335	Rifampicin 300 mg	Capsule	900,000	350,000	25,000	50	35.5 x 20.3 x 60.9	2.2
5374	Inj. Gentamycin 40 mg	Ampule	76,393	75,000	2,000	76	55 x 53 x 29	6.4
5375	Rifampicin 150 mg	Capsule	1,082,000	1,000,000	25,000	83	35.5 x 20.3 x 60.9	3.6
0600	Folic Acid 5 mg	Tablet	15,391,000	12,500,000	100,000	279	30.4 x 50.8 x 30.4	13.1
0622	Multi Vitamin	Tablet	29,065,000	32,500,000	400,000	154	55 x 53 x 29	13.0
0675	Vitamin A & D	Capsule	9,408,000	10,000,000	100,000	194	35.5 x 20.3 x 60.9	8.5
0679	Inj. Vitamin B Complex	Vial	80,200	200,000	400	701	62.4 x 35.5 x 38	59.0
0680	Vitamin B Complex	Tablet	31,635,000	75,000,000	225,000	474	30.4 x 50.8 x 30.4	22.3
0751	Vitamin C 100 mg	Tablet	60,000	12,500,000	60,000	209	35.5 x 20.3 x 60.9	9.2
1889	Vitamin B Complex Strong	Tablet	1,515,000	1,500,000	300,000	10	30.4 x 50.8 x 30.4	0.5
1890	Vitamin C 500 mg	Tablet	1,357,000	1,000,000	50,000	47	55 x 53 x 29	4.0
0120		Ampule	344,000	2,000,000	2,000	1,172	30.4 x 35.5 x 60.8	76.9
								278.8 m <sup>3</sup>

Section C-1 (X'ray Films and Chemicals)										Air-Condition Room	
Serial Number	Name of Item	Unit	Balance 1/Jan./1986	1986 Estimate x 1/2	per Case	Number of Cases	Size of Case cm x cm x cm	Volume (m <sup>3</sup> )			
5356	X'Ray Film 15 x 40 cm	Film	-	5,688	900	6	65 x 51 x 44	0.9			
5357	X'Ray Films 35.6 x 35.6 cm	Film	34,650	56,250	900	101	67 x 44 x 45	13.4			
5366	X'Ray Films 35.6 x 43.2 cm	Film	9,400	16,250	900	29	65 x 51 x 44	4.2			
5475	X'Ray Films 30 x 24 cm	Film	124,800	157,500	1,500	188	93 x 38 x 35	23.3			
5476	X'Ray Films 40 x 30 cm	Film	120,300	157,500	1,000	278	70 x 55 x 38	40.7			
5423	X'Ray Films 18 x 24 cm	Film	26,475	56,250	2,000	41	63 x 33 x 50	4.3			
5523	X'Ray Films 35.6 x 35.6 for Automatic Processing Packet	Film	250	4,825	900	6	67 x 44 x 45	0.8			
5524	X'Ray Films 43 x 35 for Automatic Processing Packet	Film	-	3,900	900	4	65 x 51 x 44	0.6			
5525	X'Ray Films 24 x 18 for Automatic Processing Packet	Film	19,700	15,650	2,000	18	63 x 33 x 50	1.9			
5526	X'Ray Films 30 x 24 for Automatic Processing Packet	Film	103,000	87,500	1,500	127	93 x 38 x 35	15.7			
5527	X'Ray Films 40 x 30 for Automatic Processing Packet	Film	89,950	62,500	1,000	152	70 x 55 x 38	22.2			
								128 m <sup>3</sup>			

Section C-2 (Transfusion Fluids & External Preparations)

Serial Number	Name of Item	Unit	Balance 1/Jan./1986	1986 Estimate x 1/2	per Case	Number of Cases	Size of Case cm x cm x cm	Volume (m <sup>3</sup> )
0293	Inj. Normal Saline 500 ml	Bottle	76,140	350,000	40	10,654	53 x 33 x 30	559.0
0582	Inj. Dextrose 50%	Ampule	61,600	200,000	340	769	53 x 38 x 30	46.5
0961	Inj. Protein Hydrolysate (Amigen) 500 ml	Bottle	1,710	5,000	12	559	34 x 25 x 30	14.3
1403	Inj. Hartman's Solution 500 ml	Bottle	31,340	25,000	40	1,409	53 x 33 x 30	73.9
1564	Inj. Dextrose 5% 500 ml	Bottle	114,240	400,000	40	12,856	53 x 33 x 30	674.6
1895	Inj. Darrows Solution 540 ml	Bottle	2,173	8,750	40	273	53 x 33 x 30	14.3
5044	Inj. Sodium Chloride 0.45% and Dextrose 5% BP in 500 ml	Bottle	25,008	-	12	2,084	34 x 25 x 20	35.4
5045	Inj. Sodium Chloride 0.18% and Dextrose 5%	Bottle	73,560	12,500	12	7,172	34 x 25 x 20	122.0
5248	Peritoneal Dialysis Solution	Bottle	70	13,500	30	452	53 x 33 x 30	23.7
5253	Inj. Mannitol 20% I.V. 250 ml	Bottle	-	15,000	12	1,250	34 x 25 x 20	21.3
								158.5 m <sup>3</sup>

Section C-2 (Dressings)

Serial Number	Name of Item	Unit	Balance 1/Jan./1986	1986 Estimate x 1/2	per Case	Number of Cases	Size of Case cm x cm x cm	Volume (m <sup>3</sup> )
0051	Bandages Crepe 7.5 cms	Roll	58,176	39,000	144	675	48 x 30 x 20	19.4
0052	Bandages W.O.W 6.25 cms	Roll	618,672	1,440,000	3,600	572	72.5 x 60 x 66	164.2
0053	Bandages P.O.P 7.5 cms	Roll	53,040	30,000	120	692	48 x 30 x 38	37.9
0054	Bandages P.O.P 10.0 cms	Roll	65,040	18,000	120	692	48 x 30 x 48	47.8
0055	Bandages P.O.P 15.0 cms	Roll	48,000	27,000	60	1250	48 x 30 x 38	68.4
0105	Cotton Wool	kg	14,622	60,000	50	1492	71 x 53 x 68.5	384.6
0124	Bandages Elastic Adhesive 7.5 cms	Roll	53,928	30,000	144	583	53 x 40 x 27.9	34.5
0166	Cauze Absorbent BPC 90 cms	Meter	1,469,000	2,000,000	2,000	1735	76 x 45 x 45	267.0
0213	Lint Plain	Roll	28,650	-	100	286	84 x 51 x 38	46.6
0366	Plaster Adhesive 7.5 cms	Roll	48,010	25,000	120	608	70 x 30 x 40	51.1
0367	Plaster Adhesive 5.0 cms	Roll	48,240	25,000	180	407	61 x 25 x 30	18.6
0410	Sanitary Pads		696,960	1,000,000	2,880	589	107 x 53 x 84	280.6
0539	Wadding Cellulose	kg	4,661	-	15	310	71 x 40 x 43	37.9
5173	Disposable Giving Sets	Set	817,785	300,000	10,000	112	99 x 61 x 61	41.3
								1,499.0 m <sup>3</sup>

## Section C-3

Serial Number	Name of Item	Unit	Balance 1/Jan./1986	1986 Estimate x 1/2	per Case	Number of Cases	Size of Case cm x cm x cm	Volume (m <sup>3</sup> )
0444	Sulphadiazine 0.5 G	Tablet	2,843,000	1,500,000	35,000	124	50 x 29 x 29	5.2
0448	Sulphamexathine 0.5 G	Tablet	58,135,000	20,000,000	35,000	2,232	50 x 29 x 29	93.9
0590	Ephedrine Hydrochlor 15 mg	Tablet	20,309,000	5,000,000	100,000	253	50 x 29 x 29	10.6
0612	Diethylcarbonazine 50 mg	Tablet	13,038,000	6,000,000	100,000	190	50 x 29 x 29	8.0
0699	Iodochloro-hydroxyquin 250 mg	Tablet	4,604,000	3,000,000	60,000	127	50 x 29 x 29	5.3
0713	Promethazine Hydrochloride	Tablet	1,926,500	7,000,000	500,000	18	50 x 29 x 29	0.8
0728	Phenytion Sodium 100 mg	Capsule	4,325,000	7,500,000	50,000	237	50 x 29 x 29	10.0
0730	Theophylline & Ethylenediamine	Tablet	3,127,000	6,000,000	80,000	114	50 x 29 x 29	4.8
1297	Benzhexol 2 mg	Tablet	6,223,000	4,875,000	100,000	111	50 x 29 x 29	4.7
5177	Chlonpromazine Hel 50 mg	Tablet	3,285,000	10,000,000	100,000	133	52 x 29 x 29	5.8
1872	Tolbutamide 0.5 G	Tablet	4,601,000	6,000,000	50,000	212	52 x 30 x 53	17.5
1888	Phenylbutazone 100 mg	Tablet	2,047,000	6,000,000	50,000	161	43 x 43 x 42	12.5
1921	Aluminium Hydroxide 500 mg	Tablet	9,146,000	8,500,000	50,000	353	52 x 30 x 53	29.2
1927	Hydro-Chlorothiazide 50 mg	Tablet	2,410,000	4,500,000	40,000	173	52 x 30 x 53	14.3
5051	Chloropropamide 100 mg	Tablet	1,804,000	5,000,000	100,000	68	50 x 29 x 29	2.9
5093	Metronidazole 200 mg	Tablet	469,000	4,000,000	40,000	112	52 x 30 x 53	9.3
5112	Trifluperacine 5 mg	Tablet	4,425,000	9,000,000	100,000	134	50 x 29 x 29	5.6
5143	Paracetamol	Tablet	13,587,000	35,000,000	30,000	1,620	52 x 30 x 53	134.0
								374.4 m <sup>3</sup>

Section C-3 (Tablets & Capusoles)

Serial Number	Name of Item	Unit	Balance 1/Jan./1986	1986 Estimate x 1/2	per Case	Number of Cases	Size of Case cm x cm x cm	Volume (m <sup>3</sup> )
5185	Potassium Chloride Slow	Tablet	911,500	4,250,000	30,000	172	52 x 30 x 53	14.2
5194	Chlorphondramine Maleate 4 mg	Tablet	14,858,000	25,000,000	100,000	399	50 x 29 x 29	16.8
5202	Methyl Dopa	Tablet	377,000	4,000,000	60,000	73	50 x 29 x 29	3.1
5046	Ephedrine Compound	Tablet	6,613,000	12,500,000	60,000	319	52 x 30 x 53	26.4
5210	Frusemide 40 mg	Tablet	361,000	4,000,000	100,000	44	52 x 30 x 53	3.6
5225	Propranolol 40 mg	Tablet	2,539,000	3,000,000	60,000	92	38 x 38 x 42	5.6
5259	Furazolidone 100 mg	Tablet	4,228,000	5,000,000	60,000	154	52 x 30 x 53	12.7
5260	Diazapan 5 mg	Tablet	749,000	7,000,000	100,000	77	38 x 38 x 42	4.7
5324	Indomethazine 25 mg	Capsule	46,000	4,020,000	50,000	81	38 x 38 x 42	4.9
5336	Ethambutal 400 mg	Tablet	4,224,000	4,250,000	20,000	424	38 x 38 x 42	25.7
695	Chloroquine 250 mg	Tablet	10,700,000	10,000,000	60,000	345	38 x 38 x 42	20.9
1711	Primaquine 7.5 mg	Tablet	5,190,000	5,000,000	100,000	102	38 x 38 x 42	6.2
								144.8 m <sup>3</sup>

Section C-4 (Injections)

Serial Number	Name of Item	Unit	Balance 1/Jan./1986	1986 Estimate x 1/2	per Case	Number of Cases	Size of Case cm x cm x cm	Volume (m <sup>3</sup> )
0046	Inj. Atropine Sulph 0.6 mg	Ampule	7,300	187,500	10,000	19	71.1 x 45.7 x 55.8	3.4
0137	Inj. Ergometrine Maleate 0.5 mg	Ampule	309,500	175,000	10,000	48	71.1 x 45.7 x 55.8	8.7
0193	Inj. Adrenaline (Multi Dose) 30 ml	Vial	3,425	10,000	300	45	66 x 35.5 x 38.1	4.0
0669	Inj. Thiopentone Sodium 1.0 G	Vial	7,650	55,000	500	125	66 x 35.5 x 38.1	11.2
0670	Inj. Thiopentone Sodium 0.5 G	Vial	5,950	37,500	500	87	66 x 35.5 x 38.1	7.8
0729	Inj. Theophy line & Ethylenediamine	Ampule	54,520	90,000	2,000	72	30.8 x 35.5 x 60.9	4.8
1639	Inj. Chlchlorpromazine 50 mg	Ampule	110,453	75,000	6,000	31	71.1 x 45.7 x 55.8	5.6
1745	Inj. Iron Dextran 2 ml.	Ampule	375,912	150,000	4,000	98	60.9 x 45.7 x 38.4	10.5
1976	Inj. Neostigmine Methylsulphate	Ampule	54,500	125,000	6,000	11	71.1 x 45.7 x 55.8	2.0
5065	Inj. Hydrocortisone Sodium	Vial	169,850	300,000	1,800	261	58.4 x 58.4 x 35.5	31.6
5074	Halothane 250 ml	Bottle	5,851	4,000	24	410	50.8 x 35.5 x 22.8	16.9
5114	Inj. Pralidoxime	Vial	36,827	10,000	400	117	66 x 35.5 x 38.1	10.4



## Section C-4

Serial Number	Name of Item	Unit	Balance 1/Jan./1986	1986 Estimate x 1/2	per Case	Number of Cases	Size of Case cm x cm x cm	Volume (m <sup>3</sup> )
5163	Inj. Promethazine Hyd	Ampule	217,650	10,000	2,500	91	99 x 55 x 32	15.9
5222	Frusimide	Ampule	342,081	350,000	4,000	173	50.8 x 35.5 x 28.8	9.0
5245	Sodium Bicarbonate 250 ml	Ampule	70,945	25,000	2,500	38	55.0 x 40.0 x 33.0	2.8
5263	Inj. Dexamethasone 1 mg	Ampule	292,238	250,000	2,000	271	99.0 x 55.0 x 32.0	47.2
5274	Inj. Diazepam 10 mg 2 ml	Ampule	106,300	300,000	8,000	51	71.1 x 45.7 x 55.8	9.2
5414	Inj. Lignocaine with Adrenalin 30 mg	Ampule	76,475	17,500	325	289	66.0 x 35.5 x 38.1	25.8
5496	Inj. Metronidazole 100 ml	Bottle	-	25,000	48	520	50.8 x 35.5 x 22.8	21.4
								231.3 m <sup>3</sup>

Section C-4 (Vaccines and Sera)								2 - 4°C
Serial Number	Name of Item	Unit	Balance 1/Jan./1986	1986 Estimate x 1/2	per Case	Number of Cases	Size of Case cm x cm x cm	Volume (m <sup>3</sup> )
0385	Inj. Oxytocin (Synthetic)	Ampule	26,200	200,000	3,000	75	47 x 36 x 38	4.8
0560	Inj. Anti Venom Serum 10 cc	Ampule	11,650	11,000	800	28	52 x 41 x 38	2.3
0720	Inj. Tubocurarine 1.5 ml	Ampule	38,137	27,500	3,400	19	47 x 36 x 38	1.2
1072	Inj. Soluble Insulin 40 unit	Vial	2,741	12,500	324	47	37 x 28 x 19	0.9
1503	Inj. Insulin 80 unit 10 ml	Vial	10,704	9,500	324	62	37 x 28 x 19	1.2
1598	Inj. Succinyl Choline 100 mg 2 ml	Ampule	88,260	67,500	1,500	104	47 x 36 x 38	6.7
1851	Inj. Insulin Zinc Suspension 40 unit	Vial	47,084	75,000	324	337	37 x 28 x 19	7.4
5020	Inj. Histamine Acid Phosphate	Ampule	1,229,570	-	3,000	410	84 x 53 x 32	58.4
5348	Inj. Insulin Lente 80 unit	Vial	43,863	62,500	324	328	37 x 28 x 19	6.5
								89.1 m <sup>3</sup>

Section OP

Serial Number	Name of Item	Unit	Balance 1/Jan./1986	1986 Estimate x 1/2	per Case	Number of Cases	Size of Case cm x cm x cm	Volume (m <sup>3</sup> )
0074	Calx Chlorinata	kg	21,700	25,000	50	934	60 H x 20 hadius (60 x 40 x 40)	89.7
0250	Cresol and Soap Solution	Letre	28,195	35,000	25	2,528	45 x 30 x 26	88.7
	Formalin							15.0
	Morphine							2.0
	Opium							1.0
	Pethedine							5.0

My No: EPI/35/84  
Epidemiological Unit,  
385, Deans Road,  
Colombo 10.  
29.01.86

Mr. E. Wijewantha,  
Director,  
Medical Supplies Division,

COLD ROOM REQUIREMENTS FOR VACCINES AT  
S.M. STORES EXPANDED PROGRAMME  
ON IMMUNIZATION - EPI

---

Further to the discussion with you and the Japanese Team,  
I am forwarding the Cold Room requirements.

In addition to the nett vaccine storage requirements,  
space is needed for loose packing, air movement and walk around  
space ie. Grossing factor.

The cold rooms should be of two types and the requirements  
are as follows:

<u>Type of Cold Room</u>	<u>Vaccine Stored</u>	<u>Gross capacity</u>
+4° C to +8° C	B.C.G. DT, TT, DPT	60 m <sup>3</sup>
-20° C	Measles , OPV	30 m <sup>3</sup>

Sgd/- Dr. A.V.K. de Silva,  
Epidemiologist.

Estimated Quantity of 6 month supply of Vaccines

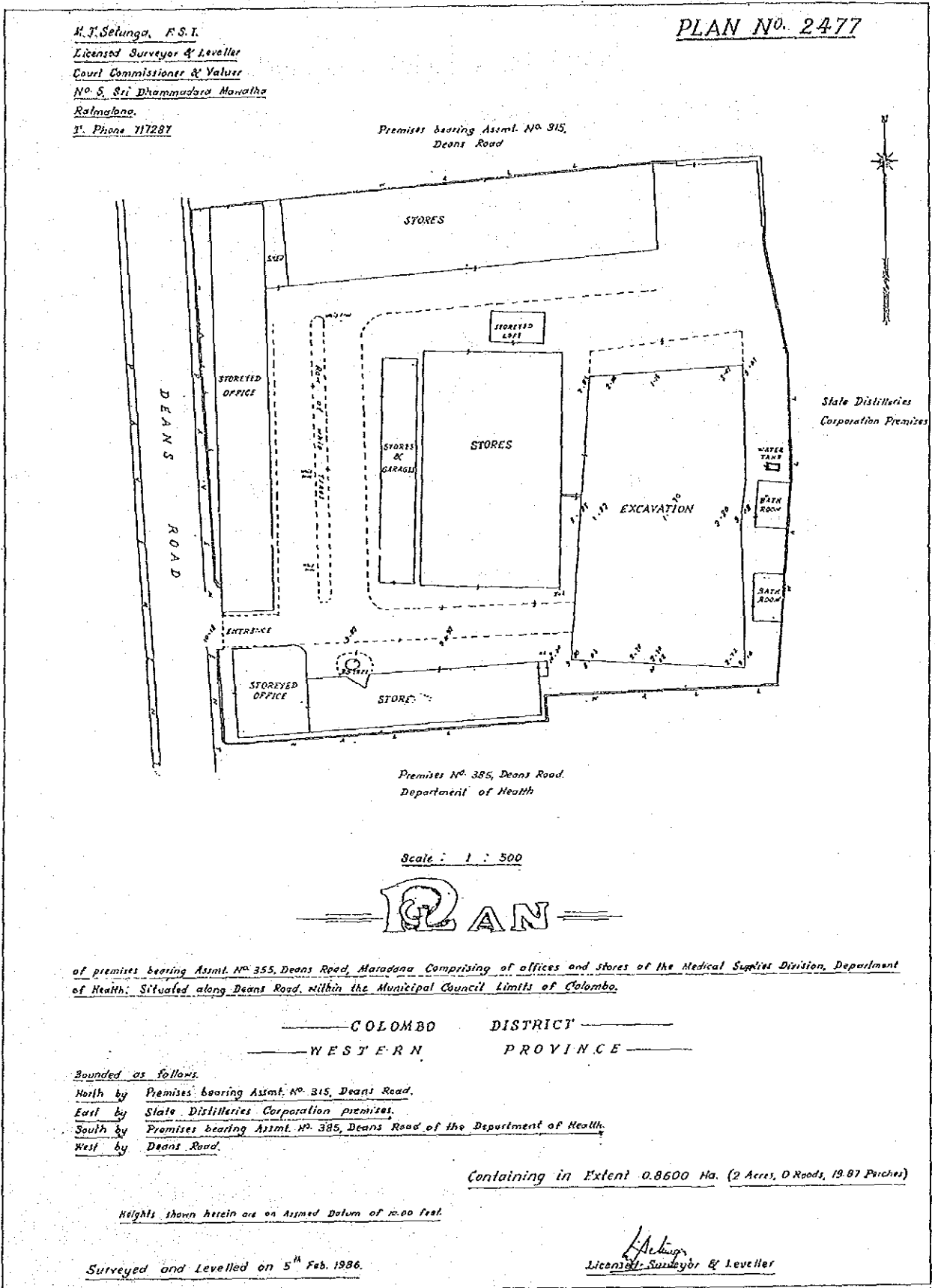
<u>+4°C +8°C</u> Vaccine	<u>No of doses</u> <u>in each box</u>	<u>Size of box</u> <u>in cms</u>	<u>6 month</u> <u>supply of vaccine</u>	<u>No of</u> <u>Boxes</u>
1. B.C.G.	80,000	70x56x55	1 million doses	13
2. D.P.T.	19,000	63x40x56	1 million doses	53
3. D.T.	30,000	50x40x60	300,000 doses	10
4. T.T.	25,000	53x31x45	1 million doses	40
<u>-20°C</u>				
5. Polio	16,000	35x40x50	1 million doses	63
6. Measles	14,000	70x61x48	250,000 doses	18

Appendix II-6 医薬品調達部 (MSD) 保有車輛リスト

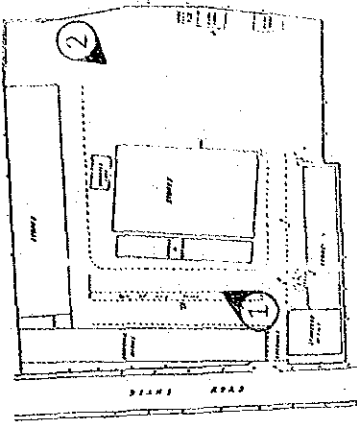
Particulars of Vehicles in M.S.D.

	<u>Registration No.</u>	<u>Make</u>	<u>Type</u>	<u>Age</u>	<u>Weight</u>
01.	26 Sri 1362	DAC	Lorry	9	5 tons
02.	26 Sri 3160	-do-	-do-	-do-	-do-
03.	26 Sri 3162	-do-	-do-	-do-	-do-
04.	26 Sri 3163	-do-	-do-	-do-	-do-
05.	28 Sri 2949	Isuzu Elf	-do-	7 Yrs.	3½ tons
06.	28 Sri 2720	-do-	-do-	-do-	-do-
07.	28 Sri 2951	-do-	-do-	-do-	-do-
08.	40 Sri 7501	Isuzu NHR	Pick Up Van	1 Yr.	below 20 c.wts.
09.	60 Sri 519	Nissan	-do-	6 Yrs.	-do-
10.	31 Sri 3783	Mitsubishi	Jeep	6 Yrs.	-do-
11.	31 Sri-3793	-do-	-do-	-do-	-do-
12.	8 Sri 1467	Peugeot 104	Car	9 Yrs.	-do-
13.	8 Sri 1228	Peugeot 405	-do-	-do-	-do-

Appendix II - 7 建設予定地測量図



PROJECT SITE



1-West Side



2-East Side





Appendix III スリ・ランカ国のカントリー・データ

Appendix III - 1 基礎指標

- ①国名 スリ・ランカ民主社会主義共和国  
 首都 コロンボ (1,784,000人/1984年)  
 独立年月日 1948年2月4日
- ②面積 65,609km<sup>2</sup>  
 (九州と四国をあわせた面積より少し大きく、北海道よりやや小さい)
- 人口 15,599,000人 (1984年)  
 人口密度 237.8 人/km<sup>2</sup> (1984年)  
 人口増加率 1.3 % (1984年)  
 都市人口比 22 % (1982年)  
 平均寿命 男:66.1才 女:70.2才

③政体 大統領を中心とする立憲共和制

- 立法府 —— 議会 (1院制)
- 行政府 —— 大統領内閣制
- 司法府 —— 最高裁判所

現職大統領は、1978年2月4日に就任したジュリアス・リチャード・ジャヤワ  
 ルデネ (Julius Richard Jayawardene) で、大統領の任期は6年、再選も可能。  
 大統領は行政の長であり、軍の最高司令官である。大統領は国民の直接選挙に  
 より選出される。被選挙権は、30才以上のスリ・ランカ公民に与えられる。

④宗教

	上段 人口 ('000人) 下段 割合 (%)		
	1963	1971	1981
全体 (ALL Religions)	10,582.0 100	12,690.0 100	14,850.0 100
仏教 (Buddhists)	7,003.3 66.18	8,536.9 67.27	10,292.6 69.21
ヒンズー教 (Hindus)	1,958.4 18.51	2,238.7 17.64	2,295.8 15.46
イスラム教 (Muslims)	724.0 6.84	901.8 7.11	1,134.6 7.64
キリスト教 (Roman Catholics & Other Christians)	884.9 8.36	1,004.3 7.91	1,111.7 7.49
その他	11.4 0.11	8.3 0.07	15.3 0.10

⑤言語 公用語としてシンハラ語

国語としてシンハラ語及びタミル語

その他、上級階層において英語が使用されている。

⑥民族

上段：人口（'000人）  
下段：割合（%）

	1946	1953	1963	1971	1981
民族 (ALL Races)	6,657 100	8,098 100	10,582 100	12,690 100	14,850 100
南部シンハリ人 (Low Country Sinhalese)	4,621 69.41	5,617 69.36	7,517 70.99	9,131 71.96	10,986 73.98
キャンディアンシンハリ人 (Kandyian Sinhalese)					
セイロンタミール人 (Ceylan Tamils)	734 11.00	885 10.96	1,163 11.00	1,424 11.22	1,872 12.60
インドタミール人 (Indian Tamils)	781 11.73	974 12.03	1,123 10.61	1,175 9.26	825 5.56
セイロンムーア人 (Ceylan Moors)	374 6.52	464 5.73	627 5.92	828 6.52	1,057 7.12
インドムーア人 (Indian Moors)	36 0.53	48 0.59	55 0.52	27 0.21	—
ヨーロッパ人 (Europeans)	5 0.08	7 0.08	—	—	—
バーガー人 (Bughers & Eurasians)	42 0.65	46 0.52	46 0.43	45 0.35	38 0.26
マレー人 (Malays)	23 0.34	25 0.31	33 0.32	43 0.34	43 0.29
ベダー人 (Vedhas)	2 0.04	1 0.01	—	—	—
その他 (Others)	41 0.62	32 0.40	21 0.18	16 0.13	29 0.20

⑦教育 成人識字率 86.5% (男 90.5% 女 82.4%) (1981年)

学校数 9,914 校 (1984)  
(公立学校 9,556 校  
私立学校 358 校)

初等学校数 4,000 校

学生・生徒総数 3,625,897 人

初等学校入学者数 363,557 人

教員数 140,190 人

教員 1 人当りの生徒数 25.9 人

Appendix III - 2 社会・経済指標 (1Rs=6.57円 1986年3月末)

①国内総生産

GDP	138,173 百万 Rs	(1984年)
一人当りGDP	8,858 Rs	(1984年)
	〔 GDP÷Mid Year Population (15,599,000) 〕	
成長率	23.4 %	(1984年)

②GNP

GNP	134,817 百万 Rs	(1984年)
一人当りGNP	8,643 Rs (340 US\$ ; 1984年平均レート 1\$ = 24.42 ルピー)	
	〔 GNP÷Mid Year Population (15,599,000) 〕	
成長率	24.0 %	(1984年)

③産業

	総生産 (1984年) GNPにおける割合	就業率 (1981年)
1次産業	26.9 %	45.8 %
2次産業	27.1 %	18.6 %
3次産業	46.0 %	35.6 %

④貿易

主要輸出品目構成

	1984年		1985年上期 (1~6月)	
	百万 Rs	%	百万 Rs	%
1. 紅茶	15,764	42.2	5,591.6	33.72
2. 工業製品	12,591	33.7	6,624.4	39.94
○Textile & Garments				
○Petroleum Products				
○その他				
3. ゴム	3,301	8.8	1,278.4	7.71
4. ココナッツ	2,118	5.7	1,252.0	7.55
5. その他農産品	1,358	3.6	424.7	2.56
総輸出額	37,347		16,584.4	

輸出相手国 1984年

1位: アメリカ合衆国	7,145.8 百万 Rs
2位: イラク	2,652.2 百万 Rs
3位: イギリス	2,191.0 百万 Rs
4位: 西ドイツ	1,840.2 百万 Rs
5位: ソ連	1,637.7 百万 Rs

主要輸入品構成

	1984年		1985年上期 (1～6月)	
	百万 Rs	%	百万 Rs	%
1位 石油	10,681	22.47	5,086.0	21.81
2位 機械製品	5,335	11.22	2,190.3	9.39
3位 輸送機器 (車両等)	3,031	6.38	470.5	2.02
4位 繊維	2,974	6.24	1,559.7	6.69
5位 砂糖	1,346	2.83	916.8	3.93
総輸入額	47,541		23,316.1	

輸入相手国 1984年

1位: 日 本	7,823.5	百万 Rs	6位: 西ドイツ	2,236.5	百万 Rs
2位: サウジアラビア	7,803.4	百万 Rs	7位: イギリス	2,209.3	百万 Rs
3位: アメリカ合衆国	4,177.9	百万 Rs			
4位: イ ン ド	2,830.6	百万 Rs			
5位: シンガポール	2,568.2	百万 Rs			

⑤就労人口 (1981/82)

就業率 34.3%

失業率 11.7%

上段：人口 ('000人)  
下段：割合 (%)

	男	女	計
農林水産業	1,570.4 33.1	602.3 12.7	3,172.7 45.8
鉱業	58.7 1.2	4.9 0.1	63.7 1.3
工業	381.4 8.0	186.4 3.9	568.2 12.0
電力・ガス・水道業	16.2 0.3	1.9 —	18.0 0.4
建設業	216.3 4.6	12.8 0.3	229.1 4.8
商業・飲食・宿泊業	405.6 8.6	85.2 1.8	490.8 10.4
運輸・倉庫・通信業	189.1 4.0	8.3 0.2	197.4 4.2
金融・保険・不動産業	38.4 0.8	14.5 0.3	52.9 1.1
地域・社会福祉業	430.3 9.1	217.9 4.6	648.1 13.7
その他	249.5 5.3	47.2 1.0	296.7 6.3
計	3,555.9 75.1	1,181.8 24.9	4,737.7 1.00

⑥インフレ率 25.6%

⑦国際収支

スリ・ランカ国の国際収支は、恒常的に、経常収支の赤字を資本収支の黒字で補い、総合収支では黒字に転換するという構図を示している。

貿易収支は、1966年以降1977年を除いて（3億5,000万ルピーの黒字）連続して赤字を記録しており、貿易外収支も1982年以降赤字に転換して現在も拡大傾向にある。したがって移転収支を加えた経常収支は、1978年以降一貫して赤字となっている。資本流入は政府間贈与・借款を中心に急激な拡大を示し、78年、79年の総合収支では黒字となったが、80年、81年は流入の伸びが鈍化し、82年まで総合収支でも赤字に転落した。

⑧通貨単位 スリランカ・ルピー (Rupee)

通貨レート 1 \$ = 27.40 Rs (1 Rs = 6.57円) (対 100 US \$)

Date			U.S. Dollar	
			Buying Rate	Selling Rate
1977	November	16 ...	1597.09	1603.00
1977	December	31 ...	1553.00	1559.00
1978	December	31 ...	1542.00	1552.00
1979	December	31 ...	1533.00	1546.00
1980	December	31 ...	1798.50	1801.50
1981	December	31 ...	2053.50	2056.50
1982	November	9 ...	2092.50	2095.50
	November	10(6)...	2102.25	2103.75
	December	31 ...	2131.25	2132.75
1983	December	31 ...	2499.25	2500.75
1984	January	31 ...	2526.25	2527.75
	February	28 ...	2518.25	2519.75
	March	31 ...	2511.25	2512.75
	April	30 ...	2513.25	2514.75
	May	31 ...	2514.25	2515.75
	June	30 ...	2516.25	2517.75
	July	31 ...	2522.25	2523.75
	August	31 ...	2532.25	2533.75
	September	30 ...	2576.25	2577.75
	October	31 ...	2598.25	2599.75
	November	30 ...	2613.25	2614.75
	December	31 ...	2627.25	2628.75
1985	January	31 ...	2648.25	2649.75
	February	28 ...	2657.25	2668.75
	March	31 ...	2694.25	2695.75
	April	30 ...	2729.25	2730.75
	May	31 ...	2739.25	2740.75
	June	30 ...	2741.25	2742.75
	July	31 ...	2724.25	2725.75
	August	31 ...	2734.25	2735.75
	September	2 ...	2734.25	2735.75
		30 ...	2737.25	2738.75

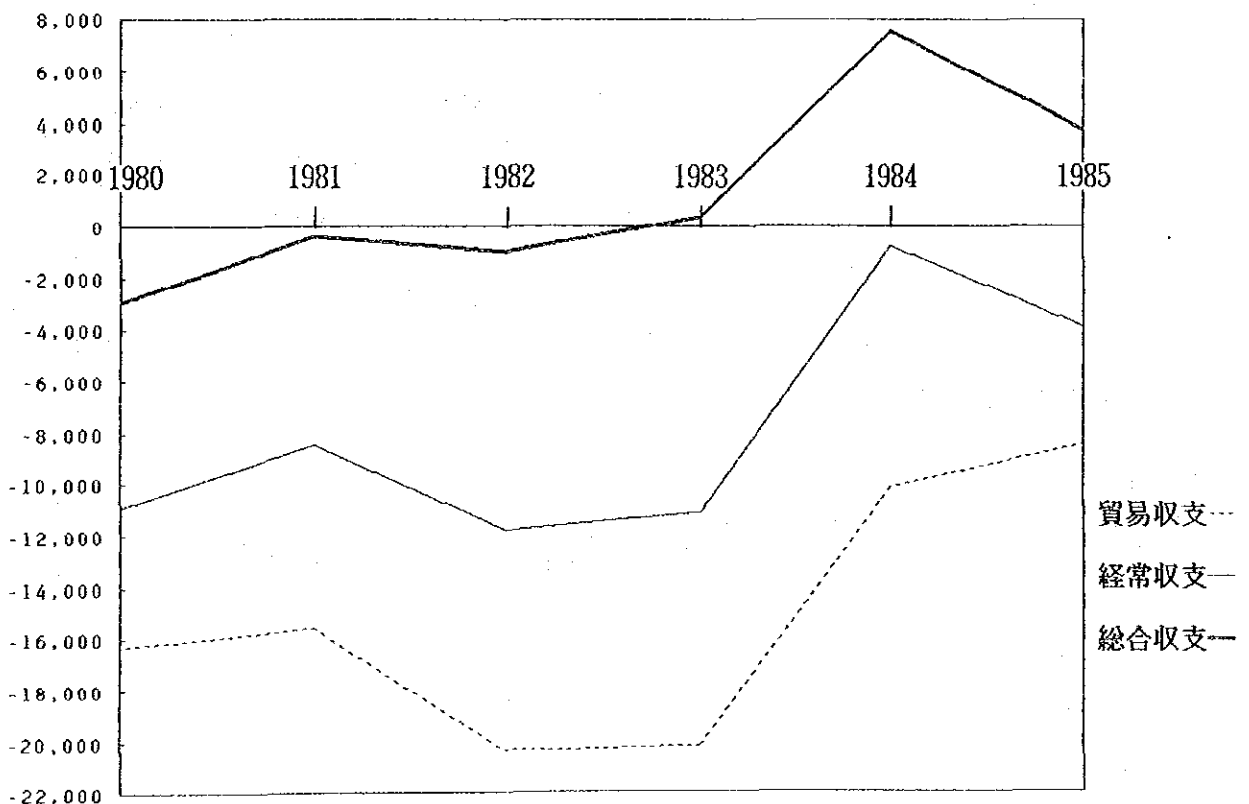
⑨気候・地勢・位置

全島が熱帯性気候であるが、高地・山岳地帯はしのぎやすい。また、年間を通じて、多雨である南西部のウェットゾーンと降雨の少ないドライゾーンにわかれる。スリ・ランカは、北緯5.5度～4.5度、東経79.4度～81.5度、インド大陸南端の東方大陸から約30kmのインド洋上に浮かぶ国である。スリ・ランカとは「美しい島」を意味するように、全島緑におおわれた美しい島である。島野南中央にはペドロタラ山 (2,538 m) がそびえ、その南にアダムス・ピークがある。この山岳を中心とした地勢の南部に対し、北半分は平野地帯が広がる。中央山岳部から流出する多数の河川は水量豊富であるが、船舶の溯航は不可である。

気候は高温多湿な熱帯性で、5～9月と12～2月の2期にモンスーンがある。一般に、島野北部と北東部は乾燥した気候であるが、南西部は湿潤地帯で草木がよく繁茂している。これらの気候・風土を背景に、南部の山岳部では良質の紅茶を、中腹部ではゴムを、海岸部ではココナツを生産している。

季節風により、(1)南西部に多量の降雨のある南西モンスーン期 (5～9月) (2)北東部に多雨のある北東モンスーン期 (12～2月) (3)モンスーン中間期の3期に大別できる。

	1980	1981	1982	1983	1984	(百万 Rs) 1985 (1月~6月)
1 貿易収支	-16,312	-15,616	-20,403	-20,168	-10,173	-8,483.2
輸出(F.O.B)	17,603	20,507	21,098	25,038	37,453	16,725.2
輸入(C.I.F)	33,915	36,123	41,501	45,206	47,626	25,208.4
2 貿易外収支	859	82	-314	-1,411	-1,558	-1,146.7
受取	4,605	6,019	6,962	8,033	8,609	4,559.2
支払	3,746	5,937	7,276	9,444	10,167	5,705.9
3 移転収入	4,541	7,036	8,873	10,457	10,942	5,674.7
4 経常収支 (1+2+3)	-10,912	-8,494	-11,844	-11,122	-789	-3,955.2
5 資本収支	6,585	7,691	10,954	10,616	8,561	5,214.3
民間	3,981	2,571	5,517	4,055	180	448.9
公共	2,604	5,120	5,437	6,611	8,381	4,675.4
長期	2,604	5,120	5,437	6,613	8,381	5,448.3
短期	—	—	—	-2	—	772.9
6 評価修正	607	-39	-124	82	-39	-27.6
7 誤差・脱漏	495	188	5	766	-671	501.2
8 SDR割当	258	252	—	—	—	—
9 総合収支	-2,967	-406	-1,009	342	7,602	3,721.5

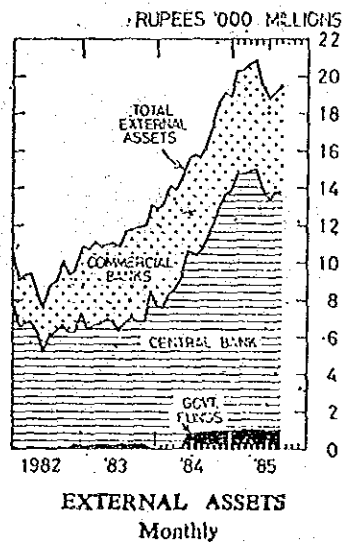




⑧外貨準備高

単位：百万 Rs

	1979年末	1980年末	1981年末	1982年末	1983年末	1984年末	1985年8月
政 府	10.4	14.4	135.1	414.6	196.3	988.9	1,045.8
政府関係機関	0.5	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.6
中央銀行	7,960.2	4,404.3	6,743.2	7,233.5	7,703.9	12,734.3	12,717.7
市中銀行	1,681.2	2,346.9	2,343.3	3,585.1	5,125.5	5,217.8	5,713.3
合 計	9,652.3	6,766.2	9,222.2	11,233.7	13,026.2	18,941.5	19,477.4



⑨公的対外債務返済比率

単位：百万 Rs

	1980	1981	1982	1983	1984	1985(1~6月)
対外負債返済(A)	2,762.8	4,449.7	5,216.6	7,135.8	7,923.1	4,622.1
償 却	1,781.5	2,084.1	2,563.3	3,120.7	3,345.3	1,981.0
利 息	981.3	2,365.6	2,653.3	4,015.1	4,577.8	2,641.1
輸出事業収入(B)	22,207.8	26,526.1	28,059.8	33,071.6	46,062.2	21,284.4
輸出事業収入(C) + 移転収入	24,725.8	30,955.9	34,083.5	39,987.2	53,734.4	25,336.4
返済比率						
A/B (%)	12.4	16.8	18.6	21.6	17.2	21.7
A/C (%)	11.2	14.4	15.3	17.8	14.7	18.2

⑩対日貿易

日本からの輸入 7,823.5 百万 Rs

日本への輸出 1,588.2 百万 Rs

①財政収支

	政 府 財 政					
	1980	1981	1982	1983	1984	1985 承認予算
歳入 (A)	14,068	16,228	17,809	25,210	37,731	38,041
歳出 (B)	30,343	31,094	37,900	46,816	53,593	59,498
經常支出	13,249	16,005	20,100	23,963	28,926	29,764
資本支出	13,854	13,373	18,669	21,733	21,780	29,543
その他	3,240	1,716	-879	-1,120	2,917	200
財政収支 (C)	-16,274	-14,866	-20,091	-21,606	-15,862	-21,457
(A) - (B)						
公債償還	1,810	1,608	2,612	5,302	2,229	7,116
不足額	14,772	13,258	17,479	16,580	13,633	14,341
-----						
財政赤字調達分						
国内非市場借入	-216	400	1,713	2,385	916	—
国内市場借入	9,826	6,296	9,899	8,965	3,041	9,100
外国援助	6,735	8,208	8,794	10,950	11,226	14,071
現金バランス	-72	-38	-315	-694	679	-1,714
不足額調達分						
国内非市場借入	-487	363	1,664	2,239	820	—
国内市場借入	9,195	5,331	8,010	5,250	2,374	3,967
外国援助	6,136	7,602	8,121	9,785	9,761	12,088
現金バランス	-72	-38	-315	-694	679	-1,714
補正予算	7,029	3,847	3,675	474	-2,082	-1,714
未償還公債	46,779	58,659	71,250	86,423	95,741	—

①国家開発計画

1979年には現ジャヤワルデネ政権による公共投資5ヶ年計画「Public Investment 1979～83」が発表され、1月からスタートした。

計画は、1979年資本投資（ネット58億6,700万ルピー、前年39%増）を実施の出発点とし、以後毎年前年実績に基づき現実的に改定される。

計画の重点は、インフラ開発に置かれ、投資戦略として、大規模な雇用創出と拡大最優先とし、貯蓄と投資増大により高度成長をはかる。このため、1)マハベリ開発計画の早期完成、2)輸出加工区の開発、3)都市再開発と住宅計画この三大プロジェクトは、5年間の公共投資の核心を構成、雇用創出、水資源確保、発電、農工業生産、輸出の拡大、地方・農村開発などを主導する。

1)マハベリ開発計画の早期完成

島内の中央から南にかけて走るハットン (Hatton) 台地に源を発し、北東のコーディアル (Koddiar) 湾に注ぐ全長 333キロメートルの河川がスリ・ランカ国最長のマハベリ (Mahaweli) 河である。この流域は、年間降雨量が 1,900ミリ以下のドライ・ゾーンといわれる。これに対し、首都コロomboを中心とした南西部は、降雨量が 1,900～5,000ミリのウェット・ゾーンである。ここは島の4分の1を占めるにすぎないが、全人口の約70%が集中している。三大商品（紅茶、ゴム、ココナッツ）や米など農作物の主産地で、もはや新耕地開発の余地はない。

こうした背景から、マハベリ河を利用し、ドライ・ゾーンを大規模に開発しようというのが、マハベリ開発計画である。今後のスリ・ランカ国経済は、この計画のいかんにかかっているといっても過言ではなく、もちろんスリ・ランカ国史上最大のプロジェクトである。同計画のマスタープランは、1965年～68年に行われた UN DP/FAO とスリ・ランカ国側の調査をもとに、1969年に発表された。

プランでは、開発計画期間は30年とされ、一部プロジェクトが着手されたが、ジャヤワルデネ政権は、五大プロジェクトを1983年までに完成させるとしていたが、計画の遅れにより修正を余儀なくされている。計画達成には外国援助が不可欠で、援助は世界銀行 (IBRD) の統括の下に、早期完成五大プロジェクトにメンバー国の援助が確定、あるいは交渉が進行中である。すなわち、Victoria (英国)、

Maduru Oy (カナダ)、Randeniga (西独)、Kotmale (スウェーデン)、Moragahakanda (日本) が対象となる。投資額 (ネット) は 110~120 億ルピーで 34万エーカーの新土地灌漑、ほぼ現在の発電量に匹敵する 500メガワットの発電、14万家族の入植、定住などが主な目標である。

## 2) 輸出加工区開発

投資促進ゾーン (IPZ: Investment Promotion Zone) といわれる輸出加工区建設に、5 億ルピーを予定している。内訳は、すでに動き出している第1のカトナヤケ IPZ の付帯設備・住宅建設のほか、ビヤガマに第2の IPZ を建設する。

大コロombo経済委員会 (GCEC: Greater Colombo Commission) は、1980年9月までに、輸出加工区内への投資申請 123件を承認した。その投資総額は35億2,500万ルピーで、28ヶ国の外資が合弁形態で進出している。これによると年間輸出額は約60億ルピー、雇用創出は6万人が期待されている。

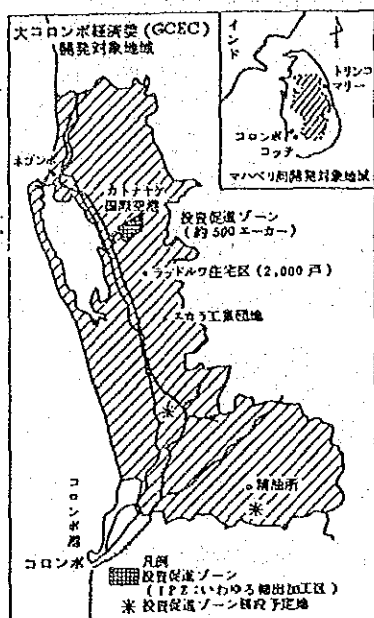
承認された 123件のうち、これまで57件が大コロombo経済委員会と投資協定を締結済みである。生産を開始しているのは26企業で、このうち24企業が輸出をはじめている (既製服、人造宝石、ラバーラテックス・スレッドなど)。投資協定を締結した57件業種では既製服製造が大半を占める。投資国別では、香港が最も多く13件、次いで米国の6件、また 100%スリ・ランカ国企業出資のものは6件となっている。日本はS社が60%出資し、ヘアードライヤーおよび台所用電気製品を製造する合弁企業のほか、100%出資のN社が金属製装身具製造を行う。

## 3) 都市再開発と住宅計画

大コロombo圏開発計画マスタープランに盛り込まれた、都市再開発と住宅計画が中心である。

都市再開発では、国会・行政府のコッテ (Kotte) への移転とコロombo中心地開発からなる。投資額は、コッテ新首都建設に3億3,000万ルピーをはじめ、湿地埋め立て、下水整備、マーケット改善、道路拡張を含めて約13億ルピーである。

低所得者層向けを重点とした住宅10万戸建設には、約26億ルピーを投じている。  
 内訳は、主要都市に新しいフラットハウス36,000戸の建設、建築助成による54,000戸、住宅ローン導入で14,000戸建設などである。このほかに、地方小都市の住宅改善分82,000戸に2億5,200万ルピーの投資が予定されるなど、計画が進められている。



②開発予算

79～83年投資計画

(単位：100万ルピー)

	78 (見積り)	79 (計画)	83 (計画)	79～83 (合計)
総投資の資金調達	7,127	9,871	20,200	77,107
海外(純資本流入)	1,867	3,943	8,510	33,283
国内	5,260	5,928	11,630	43,824
総支出(消費)	36,491	42,258	65,914	268,425
総投資・支出計	43,618	52,129	86,114	345,532
公共投資の資金調達	4,450	5,871	12,136	45,801
政府貯蓄(公社余資を含む)	△439	635	2,035	6,950
民間	1,148	1,428	1,737	8,034
外国援助	3,747	3,808	8,364	30,817
公共投資プロジェクト別配分(%)				
早期完成マハベリ開発計画		7.4		23
その他高優先リードプロジェクト		9.7		9
継続事業		42.7		19
新規プロジェクト		23.6		88
代替需要事業		16.6		11

(注) 現行市場価格(Current market price)ベース

公共投資の部門別内訳

(単位：100万ルーピー)

	79	79～83	%
投資額 (ネット)	5,871	45,801	
〃 (グロス)	7,334	57,251	100
1. 農業、漁業、灌漑	2,841	24,618	43
(うち早期完成マハベリ計画)	(535)	(13,000)	
2. 工業	720	5,725	10
3. 経済諸経費 (早期完成マハベリ 計画電力関係を除く)	1,730	17,175	30
4. 住宅、給水、都市開発	837	5,725	10
5. 保健、教育、雇用、社会事業	535	4,008	7
6. 地方分権化予算	306	*	
7. 統合地方開発計画	94	*	
8. 追加資本投資計画	500	*	
9. その他	271	*	
(うち国防)	(153)		
(国用土地取得)	(12)		
(民政)	(106)		

(注) \*これは80～83年の間1～5に含まれる。詳細内容は年予算編成時明示される。

GOVERNMENT FINANCE 1977 — 1984

Item	In Million Rupees							
	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984*
3.0 Government Receipts	6,686	11,688	17,770	14,068	16,278	17,809	25,210	37,731
1.1 Income Tax	937	1,103	1,357	2,086	2,086	2,923	3,747	6,480
1.2 Business Turnover Tax	711	1,143	1,215	1,640	2,059	4,051	6,224	8,144
1.3 Receipts from Sale of FIECs	1,157	1,329	2,271	3,256	3,256	3,222	4,836	7,845
1.4 Import Duties	518	1,469	2,371	3,256	3,256	3,222	4,836	7,845
1.5 Export Duties	630	4,216	4,168	3,638	3,638	3,484	2,459	3,172
1.6 Selective Sales Tax	1,407	1,884	1,907	1,878	2,038	2,273	3,230	5,782
1.7 Gross Receipts from Trading Enterprises	476	1,629	1,755	1,776	1,057	1,145	1,311	1,863
1.8 Others	484	737	812	865	1,059	1,319	3,111	3,704
1.9 Interest & Dividends from Corporations & Public Institutions	377	159	238	260	252	392	672	1,634
2.0 Government Payments	8,813	17,688	20,339	28,532	29,486	35,238	41,838	51,504
2.1 Current Payments	6,512	10,471	11,525	13,462	16,155	20,047	23,732	27,525
2.1.1 Purchase of goods and services	3,016	3,986	5,010	5,837	6,823	8,500	10,067	12,224
2.1.1.1 Administration	998	1,668	2,167	2,438	2,830	3,739	4,273	5,505
2.1.1.2 Social Services	1,367	1,561	1,837	2,218	2,561	3,097	3,756	4,288
2.1.1.3 Economic Services	212	241	358	437	492	630	680	734
2.1.1.4 Gross Payments of Trading Enterprises	458	505	638	734	902	1,127	1,343	1,665
2.1.1.5 Intra-Governmental Payments	10	10	10	11	18	17	17	33
2.1.2 Transfer Payments	3,466	6,485	6,515	7,626	9,332	11,447	13,665	15,301
2.1.2.1 Gross Food Subsidy	1,424	2,163	2,321	305	310	93	81	90
2.1.2.2 Interest on Public Debt	1,013	1,368	1,695	2,277	3,857	5,113	6,624	7,472
2.1.2.3 Pensions	414	457	579	718	903	1,416	1,813	2,180
2.1.2.4 To Public Corporations	146	1,081	920	1,583	1,350	1,697	1,958	1,851
2.1.2.5 Others	469	1,416	905	2,743	2,913	3,128	3,188	3,698
2.2 Capital Payments	2,216	5,475	7,793	12,029	11,843	16,325	17,183	20,963
2.2.1 Acquisition, Construction and Maintenance of Real Assets	1,122	2,222	3,863	4,968	3,927	4,772	5,633	6,742
2.2.2 Capital Transfers	937	2,590	3,438	6,254	7,347	10,835	10,750	13,576
2.2.3 Acquisition of Financial Assets	135	2,070	1,112	6,086	7,174	10,653	10,422	13,334
2.3 Net Payment of Advance Account Corporations	66	1,742	1,032	3,040	1,488	-1,084	801	646
3.0 Net Cash Surplus (+)/Deficit (-)	-2,127	-6,000	-7,609	-14,772	-13,258	-17,479	-16,628	-13,673
4.0 Financing the Deficit	2,618	5,942	7,637	14,844	13,296	17,794	17,274	12,967
4.1 Net Cash Receipts of Payments	505	280	918	-487	363	1,654	2,239	807
4.2 Domestic Non-Market Borrowings and Repayments	858	1,710	2,982	9,195	5,331	8,010	5,250	2,374
4.3 Foreign Finance	1,255	3,933	3,738	6,136	7,602	8,721	9,786	9,785
4.4 Changes in Cash Balances	-492	58	-28	-72	-58	-315	-694	666
5.0 Public Debt Outstanding (Net)	22,434	27,746	31,512	46,779	58,659	71,230	86,423	95,741
5.1 Domestic	11,841	13,163	15,671	24,502	29,487	36,633	40,398	42,060
5.2 Foreign	2,500	2,635	3,000	9,830	13,920	17,320	17,400	14,860
5.2.1 Foreign	10,594	14,582	15,841	22,277	29,172	34,597	46,025	53,681

Source: Central Bank of Ceylon.

Notes: 1.2 Includes Bank Debt Tax.  
 1.6 Duty on country liquor, tobacco tax, tea tax, betting tax and lottery tax.  
 1.7 Namely Railway, Broadcasting, Electricity, Post and Telecommunication Services and Port Commission.  
 4.1 Resulting from loan operations and grants.  
 4.2 Includes sundry loans.  
 \* Provisional.









JICA